# **DGil USERS MANUAL** CATV/xDSL Wireless Internet Sharing Box

## BLW-01P プラネックスコミュニケーションズ株式会社

## 本製品を安全にお使いいただくために

## <u> ()</u> 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りくだ さい。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障 などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれが あります。

#### 分解・改造・修理はダメ!

各部のネジを外したり、カバーを開け たりしないでください。また製品内部 の部品を改造・交換しないでください。 感電や火災につながるおそれがあります。



正しい電圧で使用して!

指定の電圧以外で使用すると誤動作や 火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ!

コンセントや電源タップの定格を超え て電気製品を接続すると、発熱し火災 につながる危険があります。



### 雷のときはさわらないで!

雷が発生している間は、製品各部およ びケーブルにさわらないでください。 感電するおそれがあります。



#### 通気口をふさがないで!

内部に熱がこもり、誤動作や火災につな がるおそれがあります。





#### 液体・異物は入れないで!

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、 誤動作したりする可能性があります。 万一異物や液体が入ってしまった場合は、 電源コードをコンセントから外して 弊社サポートセンターまでご連絡ください。



#### 電源コードは傷つけないで!

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に 加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないよ うにしてください。

コードの上に物を載せない 熱源の側にコードを置かない コードをかじる癖のあるペットは隔離する (かじった部分からショートし発火する危険があります)



### 設置・保管場所をもう一度確認して!

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管 を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所(暖房器具の側も含む)
- ・急激に温度変化する可能性のある場所(結露のおそれがある所)
- 振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所(絨毯の上も含む)
- ・腐食性のガスが発生する場所

#### おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アル コールが入ったものは使用できません。

## 目次

#### 第1章 はじめに

1.	概要	• • • •		• •	• •	·	• •	• •	•	·	• •	·	• •	• •	·	• •	·	•	•	• •	• •	·	• •	·	•	• •	·	•	• •	·	·	• •	•	·	• •	·	•	• •	5
2.	特長			• •	• •		• •	• •		•	• •	•	• •	• •	•	• •	•	•		• •	• •	·	• •	•	•	• •	•	•	• •	•	•	• •		•	• •	•	•	• •	6
3.	梱包内	り容の	確	認	• •		• •	• •		•	• •	•	• •	• •	•	• •	•	•		• •	• •	·	• •	•	•	• •	•	•	• •	•	•	• •		•	• •	•	•	• •	7
4.	各部0	D名称	β··	• •	• •	•	• •	• •	•	·	• •	·	• •	• •	·	• •	·	•	•	• •	• •	·	• •	·	•	• •	·	•	• •	·	·	• •	•	·	• •	·	•	• •	8
5.	対応構	機器·		• •	• •	•	• •	• •	•	•	• •	·	• •		•	• •	·	• •	•	• •	•	•	• •	·	• •		•	• •		•	•	• •	•	•	• •	·	• •	1	4
6.	ディッ	ップス	(1	<del>ا</del> لا	F	Г	-	51	١	ζ	• •	·	• •		•	• •	·	• •	•	• •	•	•	• •	·	• •		•	• •		•	•	• •	•	•	• •	·	• •	1	5
7.	設定0	D初期	化	• •	• •	•	• •	• •	·	•	• •	·	• •	•	•	• •	·	• •	·	• •	•	·	• •	·	• •	•	·	• •	•	·	•	• •	·	•	• •	·	• •	1	6
8.	リセッ	ットス	(1	ש: ש:	F	•	• •			•	• •				•	• •		• •							• •			• •			•			•			• •	1	7

#### 第2章 ハードウェアの接続

1.	設置場所について
2.	設置 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3.	無線LANカードの取り付け · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
4.	WAN側ポートにxDSL/ケーブルモデムを接続する・・・・・・・・21
5.	LAN側ポートの接続 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
6.	電源の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
7.	接続の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

#### 第3章 簡単設定

1.	コンピュータの設定	27
2.	WAN側ポートの接続の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
3.	接続の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47

#### 第4章 ワイヤレスLANアクセスポイント

1. ワイヤレスLANアクセスポイントについて ・・・・・・・・・・・・・・・4	8
2. ワイヤレスLANクライアントの設定 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	9

#### 第5章 プリントサーバ機能

1. プリントサーバ機能について ······・·・·・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・€	ò5
2. Windows 98/98 Second Editionへのインストール ・・・・・・・・・・・・・・・	5
3. Windows Meへのインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4. Windows 2000へのインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39

#### 第6章 詳細設定

	1. 設定画面を開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	2. 管理者パスワードの設定	
	3. インターネット(WAN側)からの設定の許可	
	4. LANポートのIPアドレスの設定 ・・・・・・・・・	
	5. WANポートの設定 ・・・・・	
	6. ワイヤレス設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	7. DHCPサーバ機能の設定 ・・・・・・	
	8. 特定アプリケーション ・・・・・	
	9. ローカルサーバ機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・	
	10. ユーザ設定ローカルサーバ ・・・・・・・・・・	
	11. バーチャルコンピュータ機能(DMZ)・・・・・・	
	12. フィルタ設定	
	13. ルーティングテーブル ・・・・・・・・・・・	
	14. ステータス表示	
	15. NAT機能の設定	
	16. その他の設定	
付録A	トラブルシューティング	
付録B	デフォルト設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
付録C	PPPoE接続について	
	1. PPPoEとは ·····	
	2. PPPoEクライアント機能について ······	
	3. 動作確認済みサービス	
付録D	仕様	

#### 《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

User's Manual Version 1.0

No.PCM-01-03-JF-BLW-01P

## 1.はじめに

### 1. 概要

本製品は、xDSLおよびCATV(ケーブルTV)接続を使用したイン ターネット接続に対応したインターネットシェアリングボックス です。NAT/IPマスカレード(NAPT)機能により、1つのIPアドレ スを複数のコンピュータで共有し、同時にインターネットにアク セスすることが可能です。本製品は無線LANカードを装備してお り、無線アクセスポイントとしても使用可能です。また、プリン タポートを装備しており、Windowsコンピュータからプリンタを 共有することも可能です。本製品はWEBブラウザにより、簡単に セットアップすることが可能です。



図1-1 bRoad Lanner接続図

注意 プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータか らのアクセスを制限している場合もあります。プロバイダとのご契約内容についてご 確認ください。

## 2. 特長

xDSL、CATV接続等のWAN回線に対応 NAT/IPマスカレード機能により1つのIPアドレスを複数のコン ピュータで共有可能

WAN側に10BASE-T RJ-45 STPポートを1ポート装備

LAN側に100BASE-TX/10BASE-T自動認識に対応したRJ-45 STPポートを1ポート装備

無線LANカードを装備、11Mbps無線アクセスポイントとして 使用可能

無線部はWEPおよびMACアドレスフィルタによるセキュリテ ィに対応

プリンタポートを装備、Windowsコンピュータでプリンタの共 有が可能

WAN側ポートはDHCPクライアントに対応

LAN側ポートはDHCPサーバに対応(最大253クライアントま で割り当て可能)

ローカルサーバ機能およびバーチャルコンピュータ機能によ り、ローカルネットワーク上のコンピュータにインターネット からアクセス可能

フィルタ機能を装備、IPアドレス、ポート番号によるアクセス 制限が可能

WAN側の接続方法として通常の接続のほかにPPPoE接続に対応 WEBブラウザから設定可能

## 3. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

BLW-01P本体 無線LANカード ACアダプタ UTPストレートケーブル(1m)1本 ショートケーブル1本 ドライバCD-ROM CD-ROMマニュアル 保証書

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご 連絡ください。

## 4. 各部の名称

本体上面



図1-2 BLW-01P 本体上面

Power LED J

本製品に電源が供給されている場合に点灯します。

「Status LED」

本製品の起動時および、何らかの異常が発生した場合に点灯し ます。正常に動作している場合は消灯します。

WAN LED J

WAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。また、 WAN側ポートでデータの送受信中は点滅します。

LAN 10 LED

LAN側ポートのリンクが10BASE-Tで確立しているときに点灯し ます。また、LAN側ポートでデータの送受信中は点滅します。 LAN 100 LED

LAN側ポートのリンクが100BASE-TXで確立しているときに点灯 します。また、LAN側ポートでデータの送受信中は点滅します。

Wireless LED J

無線LANカードが正常に動作しているときに点灯します。また、 無線LANカードがデータの送受信中は点滅します。

<sup>r</sup> Printer Error LED J

プリンタエラーが発生したときに点灯します。

<sup>r</sup> Printer Act LED J

プリンタとの接続が確立しているときに点灯します。プリンタに データを送信中は点滅します。



図1-3 BLW-01P 本体背面

「プリンタポート」 プリンタを接続するためのD-SUB25ピンセントロニクスプリン タポートです。

「WAN側ポート」

本製品をxDSLまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「ディップスイッチ」

本製品の設定の初期化およびDHCPを無効にしたい場合に使用します。

「LAN側PCポート」

本製品にコンピュータを直接接続するためのRJ-45 STPポート です。LAN側HUBポートと同時に使用することはできません。

「LAN側HUBポート」

本製品にハブを接続するためのRJ-45 STPポートです。LAN側PC ポートと同時に使用することはできません。 「リセットスイッチ」

本製品を再起動する場合および、本製品の設定の初期化時に使用 します。設定の初期化の方法については、第1章「7.設定の初期化」 を参照してください。

「無線LANカードスロット」

本製品に無線LANカードを取り付けるためのスロットです。付属の無線LANカード以外のPCカードは取り付けないでください。

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

注意 無線LANカードの取り付けおよび取り外しは、必ず本製品の電源を切った状態 で行ってください。また、付属の無線LANカード以外は使用しないでください。 本体裏面



図1-4 BLW-01P 本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているもの と同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故 障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。

「サーバ名」

本製品のデバイス名です。デフォルトのホスト名になります。

「LAN側MACアドレス」

本製品のLAN側ポートのMACアドレス(物理アドレス)です。

「WAN側MACアドレス」

本製品のWAN側ポートのMACアドレス(物理アドレス)です。プロバイダによってはxDSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要な場合があります。その場合はこのWAN側ポートのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

## 5. 対応機器

コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

イーサネット(有線)通信を使用する場合

Windows 95/98/Me、Windows NT、Windows 2000を搭載し、 Ethernet(RJ-45)ポートを装備したコンピュータ TCP/IPが利用可能なOS(Mac OS、各種UNIX等)を搭載し、 Ethernet(RJ-45)ポートを装備したコンピュータ

ワイヤレス(無線)通信を使用する場合

Windows 95/98/Me、Windows NT、Windows 2000を搭載し、 IEEE802.11/IEEE802.11bに準拠した無線LANカードもしくは 無線LAN通信機能を装備したコンピュータ

AirMac無線LANカードを装備したMacintoshコンピュータ

ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

UTPまたはSTPツイストペアケーブル

10BASE-T/100BASE-TXリピータハブまたはスイッチングハブ

xDSL/ケーブルモデム

本製品は、以下のいずれかのxDSL/ケーブルモデムに対応しています。

RJ-45(LAN)ポートを装備した外付xDSLモデム

RJ-45(LAN)ポートを装備した外付ケーブルモデム

6. ディップスイッチについて

本製品背面にはディップスイッチが装備されています。このディ ップスイッチにより、本製品のLAN側IPアドレスとパスワードの 初期化と、DHCPサーバ機能を無効にすることが可能です。 スイッチの設定状態と用途については次の表を参照してください。



図1-5 ディップスイッチ

スイッチ設定	用途
スイッチ1 ON スイッチ2 ON	通常の使用
スイッチ1 OFF スイッチ2 ON	LAN側のDHCPサーバ機能を無効にします。
スイッチ1 ON スイッチ2 OFF	LAN側IPアドレスとパスワードを出荷時の状態に戻 します。詳細な手順については次節で説明します。
スイッチ1 OFF スイッチ2 OFF	通常の使用

表1-1 ディップスイッチの設定

## 7. 設定の初期化

IPアドレスやパスワードを忘れてしまった場合や、間違った設定 をしてしまい設定画面にアクセスできなくなった場合等に設定の 初期化が必要になることがあります。

本製品では、設定の初期化の方法として「LAN側ボートのIPアドレスとパスワードのみの初期化」と、「すべての設定の初期化」の2通りが可能です。

LAN側IPアドレスとパスワードのみの初期化

LAN側IPアドレスとパスワードのみの初期化には本製品背面のディップスイッチを使用します。以下の手順で初期化を行ってください。

1.本製品の電源を切ってください。

 ディップスイッチを「スイッチ1=ON」、「スイッチ2=OFF」に 設定してください。

3.本製品の電源を入れてください。

4.スイッチ1を以下の順番で切り替えてください。この作業は15 秒以内に行ってください。

スイッチ1:OFF ON OFF

5.LAN側IPアドレスとパスワードが出荷時の状態に戻ります。

#### すべての設定の初期化

注意 すべての設定の初期化を行うと、LAN側/WAN側ボートの設定やワイヤレス設 定、フィルタ設定等すべての設定が初期化されます。初期化を実行する前に、本当に 初期化を行っても問題がないかを確認してください。

本製品のすべての設定の初期化は、以下の手順で行ってください。

- 1.本製品の電源を切ってください。
- 2.本製品背面のリセットスイッチを押したまま、電源を入れてく ださい。
- 3.Status LEDが2回点滅するまで、リセットスイッチを押し続け てください。
- リセットスイッチを離してください。本製品のすべての設定が 初期化されます。

### 8. リセットスイッチ

本製品背面にはリセットスイッチが装備されています。動作中に 何らかの理由で本製品のリセットを行いたい場合は、本製品背面 のリセットスイッチを押してください。



# 2.ハードウェアの接続

本章では、本製品とxDSL/ケーブルモデム、ハブとの接続手順について説 明します。

## 1. 設置場所について

BLW-01Pを設置する際には必ず以下の点をお守りくださいます ようお願いします。

湿気の多い場所に設置しないでください。

チリやほこりの多い場所には設置しないでください。

直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しないでくだ さい。

内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間 を空けてください。

注意 通風口にほこりなどがたまると内部に熱がこもる原因となります。定期的に点 検を行い、ほこりがたまっているようでしたら掃除機等でほこりを取り除くようにし てください。

ワイヤレスLANはケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも 簡単に使用することが可能ですが、設置場所または通信したい端末 との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低 下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信を行 うには、出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	<b>転送距離への影響</b> (* <i>が多いほど、影響が</i> 大 きいことを表します。)	具体例
空気	*	_
石材	* *	木材の仕切り
石膏	* *	仕切り壁
合成素材	* *	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	* *	天井
ガラス	* *	窓ガラス
水	* * *	湿った木材
煉瓦	* * *	煉瓦壁
大理石	* * * *	石壁
セメント コンクリート	* * * *	床、壁
防弾ガラス	* * * *	哨舎
鉄	* * * * *	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

## 2. 設置

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所に設置して使用して 下さい。

## 3. 無線LANカードの取り付け

1.本製品の電源が切れていることを確認してください。
 2.本製品背面の無線LANカードスロットに付属の無線LANカード
 を取り付けてください。



#### 図2-1 無線LANカードの取り付け

注意 無線LANカードは必ず付属のものを使用してください。付属以外の無線LANカ ードの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外の無線LANカー ドを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

## 4. WAN側ポートにxDSL/ケーブルモデムを接続 する

- 1.xDSL/ケーブルモデムの電源を切ってください。
- 2.ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルで、 本製品背面のWAN側ポートとxDSL/ケーブルモデムのRJ-45 ポートを接続してください。



#### 図2-2 xDSL/ケーブルモデムとの接続

注意 xDSL/ケーブルモデムの種類によっては、本製品と接続する際にストレートケ ーブルでなく、クロスケーブルを必要とするものもあります。詳細については、お 手持ちのxDSL/ケーブルモデムのマニュアルを参照してください。

## 5. LAN側ポートの接続

LAN側ポートの接続には、1台のコンピュータを直接接続する方法と、ハブを使用してコンピュータを接続する方法があります。 LAN側に2台以上のコンピュータを接続したい場合はハブを使用 してコンピュータを接続してください。

1台のコンピュータを直接接続する場合

LAN側ポートに1台のコンピュータを直接接続する場合は以下の 方法で接続を行ってください。

- ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルの一端を本製品のLAN側PCポートに接続してください。
- ツイストペアケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45ポートに接続してください。



#### 図2-31台のコンピュータを接続

注意 本製品のLAN側PCポートとLAN側HUBポートを同時に使用することはできま せん。 ハブを使用して2台以上のコンピュータを接続する場合 LAN側ポートに2台以上のコンピュータを接続する場合は以下の 方法で接続してください。

- ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルの一 端を本製品のLAN側HUBポートに接続してください。
- 2.ツイストペアケーブルのもう一端をハブ(10BASE-T/100BASE-TXリピータハブやスイッチングハブ等)のRJ-45 ポートに接続してください。
- 3.本製品を経由して、インターネットにアクセスするコンピュー タとハブをツイストペアケーブルで接続してください。



#### 図2-42台以上のコンピュータを接続

注意 本製品のLAN側PCボートとLAN側HUBボートを同時に使用することはできま せん。

## 6. 電源の接続

xDSL/ケーブルモデムおよびハブの電源を入れてください。
 付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続してください。
 ACアダプタをAC100Vコンセントに接続してください。スペースの問題でコンセントに直接、ACアダプタを接続できない場合は付属のショートケーブルをご使用ください。

4.コンピュータの電源を入れてください。



#### 図2-5 電源の接続

注意 ACアダブタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの 使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用し た場合の故障は保証の範囲外となります。

## 7. 接続の確認

これまでの接続を行い本製品の電源を入れると本製品のPower、 WAN、LAN、Wirelessの各LEDが点灯します。 これらのLEDが点灯しない場合は以下の点についてご確認くだ さい。

Power LED

- ・本製品付属のACアダプタを使用していますか?
- ・ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか?
- ・ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていま すか?

WAN LED

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWAN 側ポートおよびxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっか りと接続されていますか?
- ・xDSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか?
- ・ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか?

LAN LED

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLAN側 ポートおよびハブまたはコンピュータのRJ-45ポートにしっか りと接続されていますか?
- ・ハブまたはコンピュータの電源は入っていますか?
- ・ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか?

Wireless LED

- ・無線LANカードはしっかりと挿さっていますか?
- ・本製品付属の無線LANカードを使用していますか?

# 3. 簡単設定

本章では本製品の簡単設定手順について説明します。簡単設定では、必要 最小限の設定のみで、本製品を経由したインターネットへのアクセスを行 えるようにします。

簡単設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」を参照して本製品 とxDSL/ケーブルモデム、コンピュータの接続を済ませておいてください。 本製品のより詳細な設定を行う場合は、第6章「詳細設定」を参照してくだ さい。

## 1. コンピュータの設定

Windows 95/98

- コンピュータにネットワークアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。ネットワークアダプタがインストールされていない場合は、ネットワークアダプタのインストールを行ってください。
- ンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」と選択してください。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。

E Microso	oft ネットワーク クライ X ENW-9501-F	アント Fast Ethernet Ac	lapter	
TCP/IP	8			
Microso	oft ネットワーク共有	すサービス		
追加	J(A)	肖 <b>『</b> 余(R)	7°B	/\*͡ティ(₽)
優先的にの				
Microsoft	ネットワーク クライアン	· 小		
75/14	小池水井去你			-
771/20	_/////共有位	2		
- 記明 TCP/IP L	す イルーネットや	WAN への接続に	使用するプロト	படுகுது.
TOWIE I	ox 177 17/17		DC/11 9 '07' HT	400090

3.インストールされていない場合は「追加」ボタンをクリックし、 「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロト コル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。

ンストールするネットリーク コンボーネント :	\abo(A)
3 クライ アント	20川(西)
マクラクター ープロトコル	キャンセル
プロトコルはコンピュータが通信するための言語です。 連信する複	

4.ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選 択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して 「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパ ティの画面に戻ります。

ックしてくださ は、[ディスク	さい。 このデバイスのインストール ディス: 使用) をクリックしてください。 ネットワーク プロトコル・	クがある場合
ar Banyan ar IBM ar IBM <b>™icrosoft</b> ar Novell		- -
	<u>ディス・</u> のK	ク使用(出) キャンセル

5.「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスを自動的に取得」オプションを選択し、コンピュータを再起動してください。

TCP/IPのプロパティ	? ×
バインド   詳細設定   NetBIOS   DNS 設定	ゲートウェイ   WINS 設定 IP アドレス
IP アドレスは DHCP サーバーによって自動的 れます。ネットワークが自動的に IP アドレスを 一ク管理者がアドレスを書り当てます。この境 い。	にこのコンピュータに書り当てら 「書り当てない場合は、ネットワ い合はアドレスを入力してくださ
● IP アドレスを自動的に取得(Q)	
P 7 ሾ レスው	
サブネット マスク(山):	
	OK キャンセル

Macintosh

- 1.アップルメニューから「コントロールパネル」 「TCP/IP」と選 択してください。
- 2.TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCPサーバを参照」 に設定してください。

-	<u></u>			_
経由先: → 設定	Ethernet	÷		
設定方法:	DHCP サーバを参照	\$		
DHCP クライアント ID:				
₽ アドレス:	192.168.10.31			
サブネットマスク:	255.255.255.0			
ルータアドレス:	192.168.10.10			
an anna Anna a			検索ドメイン名:	_
ネームサーバアドレス:	111.0.94.38			
0				

3.TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、Macintoshを再起動してく ださい。 2. WAN側ポートの接続の設定

コンピュータの準備ができたら、本製品のWAN側ポートの接続の 設定を行います。

WAN側ボートの接続の方法には、「通常の接続」と「PPPoE接続」 の2種類があります。プロバイダがPPPoE接続に対応している場 合は41ページの「PPPoE接続の設定」を、それ以外の場合は32 ページの「通常の接続の設定」を参照してWAN側ボートの設定 を行ってください。

注意 WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラ ウザを使用する必要があります。Netscapeまたは Microsoft Internet Explorerのパー ジョン4.0以降のご使用を推奨します。

また、ブラウザでブロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。 Internet Explorerでは「表示(ツール)」「インターネットオブション」「接続」 「LANの設定」、Netscapeでは「編集」「設定」「詳細」にブロキシの設定項目があ ります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面 で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN 側ボートのIPアドレスを入力してください。

通常の接続の設定

通常の接続の場合、プロバイダからのIPアドレスの割り当てには、 固定のIPアドレスが提供される場合と、接続時にDHCPサーバか ら自動的にIPアドレスが割り当てられる場合があります。

## IPアドレスがDHCPサーバにより自動的に割り当てられ る場合

プロバイダから特にIPアドレスの指定がなく、IPアドレスを自動 的に取得するよう指定されている場合は、通常は何も設定する必 要はありません。

ただし、プロバイダによっては、ホスト名やドメイン名が指定さ れている場合があります。この場合は以下の手順でホスト名、ド メイン名の設定を行ってください。

ホスト名、ドメイン名の指定がない場合は、第3章「3.接続の確認」 に進んでください。

 コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動してください。
 WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、 Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のデフォルトIPア ドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。

3.本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。ユーザ名は空欄のままで、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

NeedPasswor	rd (192.168.1.1) に対するユーザ名を入力して
ください	
ユーザ名:	[
パフロード	*****
11/2 11	

#### 4.本製品の設定画面が表示されます。



5.画面左にあるメニュー内の「WANポート設定」をクリックして ください。「WANポート設定」画面が表示されたら、「通常の接 続」を選択して「設定」ボタンをクリックしてください。



6.「WANポート設定 通常の接続」画面が表示されます。「デバイス 情報」内の「ドメイン名」と「ホスト名」をプロバイダから指定 されたものに変更してください。指定されていない項目につい てはデフォルト値のままにしておいてください。

	-ト設定 通常の接続	1	
デバイス情報	ドメイン名 ホスト名 MACアドレス	p1002350 00.90-cc-13.67.25	
IP設定	IP7FUA	<ul> <li>DHCPサーバから自動取得</li> <li>固定Pアドレス</li> <li>IPアドレス</li> <li>サブネットマスク</li> <li>0</li> <li>0&lt;</li></ul>	
		デフォルトに戻す 保存 キャンセ	JL I

 7.「保存」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。
 8.「ドメイン名」を設定した場合は、設定を反映させるため、コン ピュータを再起動するか、IP設定の再取得を行ってください。
#### 固定のIPアドレスが割り当てられる場合

プロバイダから固定のIPアドレスが割り当てられている場合は、 以下の情報を用意してWAN側ポートの設定を行ってください。

a.プロバイダから割り当てられているIPアドレス b.プロバイダから割り当てられているサブネットマスク c.プロバイダから割り当てられているゲートウェイIPアドレス d. DNS(ドメインネームサーバ)のIPアドレス e.ドメイン名(指定されている場合) f. ホスト名(指定されている場合)

 コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動してください。
 WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、 Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のデフォルトIPア ドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。
 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示さ

れます。 ユーザ名は空欄のままで、 デフォルトのパスワード 「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

	a (192.108.1.171_x	すするユーザ名を入力して
ください		
フーザ名:		
0,2,0-12	1	

### 4.本製品の設定画面が表示されます。



5.画面左にあるメニュー内の「WANポート設定」をクリックして ください。「WANポート設定」画面が表示されたら、「通常の接 続」を選択して「設定」ボタンをクリックしてください。

	wanボート設定	)
	プロパイダがPPPoEを使用している場合は「PPPoE接続」を選択してください。その他の場 合は「通常の接続」を選択してください。	
18/0 KI+*. L	接続方法を選択し「設定」ボタンをクリックしてください。	
WAIND TP	<ul> <li>● 通常の接続</li> <li>● PPPoE接続</li> </ul>	
	設定	E

6.「WANポート設定 通常の接続」画面が表示されます。IPアドレスで「固定IPアドレス」を選択し、次の項目を手動で設定してください。

	WANT	・ト設定 通常の接続	<b>()</b>
デバイス情報	ドメイン名 ホスト名 MACアドレス	p1002350 00.90-cc-13.67.25	
IP設定	IP7FUA	<ul> <li>DHCPサーバから自動取得</li> <li>固定Pアドレス</li> <li>IPアドレス</li> <li>192</li> <li>168</li> <li>100</li> <li>235</li> <li>サブネットマスク</li> <li>255</li> <li>255</li> <li>255</li> <li>0</li> <li>ゲートウェイ</li> <li>168</li> <li>100</li> <li>1</li> </ul>	
		デフォルトに戻す 保存 キャンセ	211

「IPアドレス」

プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。

「サブネットマスク」

プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してくだ さい。

「ゲートウェイ」

プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイのIPアドレ スを入力してください。

「ドメイン名」

プロバイダから指定されている場合は、指定されたドメイン名 を入力してください。

「ホスト名」

プロバイダから指定されている場合は、指定されたホスト名を 入力してください。

 7.「保存」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。
 8.画面左のメニューから「LANポート設定」を選択してください。
 「LANポート設定」画面が表示されるので、「DNSアドレス(1)」
 にプロバイダから指定されたDNS(ドメインネームサーバ)の アドレスを入力してください。2つ以上のDNSアドレスが指定 されている場合は「DNSアドレス(2)」、「DNSアドレス(3)」も 入力してください。

	(i)		
IP設定	IPアドレス	192 168 1	. 1
	サブネットマスク	255 255 255	
	DHCPサーバ	● 使用する ● 使用し	<i>รส</i> ะก
DHCPサーバ	割り当て開始アドレス	192 168 1	. 2
	割り当て終了アドレス	192 168 1	51
	WANボートの設定を「固定 レスを設定してください。	EIPアドレス」にした場合は、	. DNS(ドメインネームサーバ)のアド
DNS7FLZ	DNSアドレス(1)	192 168 100	. 10
	DNSアドレス(2)	192 168 100	. <mark>11.</mark> (省略可)
	DNSアドレス(3)	0 0 0	. 🧧 (省略可)
ルーティング	ルーティングテーブルの設	定を行います。	
			保存 キャンセル

9.「保存」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。 10.設定を反映させるため、コンピュータを再起動するか、IP設定 の再取得を行ってください。

#### PPPoE接続の設定

PPPoE(Point to Point Protocol over Ethernet)とは、ダイヤルアッ プ接続で一般的に用いられているPPP(Point to Point Protocol) 接続をEthernet上で実現する方式です。通常、インターネット常 時接続ではネットワーク設定に関する技術的な知識を必要としま すが、PPPoE接続では、基本的にユーザー名とパスワードの設定 だけで簡単にインターネットに接続できます。ただし、ダイヤル アップ接続でのPPPと違い、コンピュータにPPPoE接続のための 専用のソフトウェア(NTTや各プロバイダから提供予定)をイン ストールする必要があります。また、通常、1つの契約(1セッショ ン)には1個のIPアドレスしか割り当てられないため、1台のコン ピュータしかインターネットに接続できません。

本製品のPPPoE接続機能を使用すると本製品自身がPPPoEクラ イアントとしてプロバイダとのPPPoEセッションを確立するの で、コンピュータにPPPoE接続ソフトウェアをインストールする 必要はありません。

プロバイダへの接続はコンピュータからインターネットへの接続 要求が発生した場合に、本製品が自動的に行います。また、イン ターネット側との通信が設定した時間(分単位)なかった場合自 動的に接続を切断します。

さらに、NAT/IPマスカレード機能により、1台分の契約で、複数の コンピュータから同時にインターネット接続が可能です。 設定手順

1.コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動してください。

- 2.WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、 Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のIPアドレス(デ フォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押してく ださい。
- 3.本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。ユーザ名は空欄のままで、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

ユーザ名とパスワ	י-ドወ入力	×
NeedPasswork ください:	rd (192.168.1.1) に対するユーザ名を入力して	5
ユーザ名:		
バスワード	****	
	OK キャンセル	

### 4.本製品の設定画面が表示されます。



5.画面左にあるメニュー内の「WANポート設定」をクリックして ください。「WANポート設定」画面が表示されたら、「PPPoE接 続」を選択して「設定」ボタンをクリックしてください。



### 6.PPPoE接続の設定画面が表示されます。

	WANボート設定 P	PPPoE接続
ログイン情報	ユーザ名(アカウント名) 8 パスワード パスワードの確認	xuest
IP設定	IPアドレス ● 自動取得 ● 固定IPアドレ	ر <mark>م الم</mark>
オブション	自動切断までの時間 自動接続 自動接続を無効にした場合、接続を 使用してください。	15 分 ☑ 有効にする 巻行うには「WANステータス」画面の「接続」ボタンを
		保存 キャンセル

7.以下の項目を設定してください。

「ユーザ名(アカウント名)」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のユーザ名(アカウント 名)を入力してください。

「パスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のパスワードを入力し てください。

「パスワードの確認」

確認のためパスワードをもう一度入力してください。

「サービス名」

プロバイダによってはPPPoE接続のサービス名が指定される 場合があります。この場合は指定されたサービス名を入力して ください。サービス名の指定がない場合は空白のままでかまい ません。

「IPアドレス」

プロバイダから固定IPアドレスの指定がない場合は「自動取得」 を選択してください。PPPoE接続の際にIPアドレスを自動取得 します。プロバイダから固定のIPアドレスが指定されている場 合は「固定IPアドレス」を選択し、指定されたIPアドレスを入力 してください。

「自動切断までの時間」

ここで設定した時間、インターネットへの通信がない状態が続くとPPPoE接続を自動切断します。自動切断を行わない場合は "0"を設定してください。設定できる値は0-99(分)です。 「自動接続」

「有効にする」をチェックすると、LAN側ネットワークからイン ターネット側への通信が発生したときに自動でPPPoE接続を 行います。通常は有効にしておくことを推奨します。無効にし た場合、PPPoEの接続を行うには、「WANステータス」画面の 「接続」ボタンをクリックして手動で接続を行ってください。

8.設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。

9.PPPoEの接続の確認を行います。メニューから「WANステータ ス」を選択してください。



10.「接続」ボタンをクリックしてください。"PPPoE 接続に成功 しました"というメッセージが表示され、PPPoE接続ステータ スが"ON"になれば接続は成功です。PPPoE接続が成功しな い場合は、ユーザ名、パスワード等の設定に間違いがないか確 認してください。また、第6章「14.ステータス表示」を参照して "PPPoE接続ログ"の内容も確認してください。

## 11.設定を反映させるため、コンピュータを再起動するか、IP設定 の再取得を行ってください。

プロバイダから配布されるPPPoE接続ソフトウェアに ついて

本製品のPPPoE接続の設定後はコンピュータにPPPoE接続ソフ トをインストールする必要はありません。インストールしてある 場合は、アンインストールするか、そのソフトの自動接続機能を 無効にしてください。

## 3. 接続の確認

コンピュータ上でWEBブラウザを起動し、任意のURLを入力し、 ページが表示されるか確認してください。表示されない場合は、 プロバイダから指定されている設定をよく確認して、もう一度 「簡単設定」をやり直してください。それでも接続できない場合は、 「付録A.トラブルシューティング」を参照してください。

注意 プロバイダによっては、インターネットに接続できる機器をMACアドレスに より管理している場合があります。このような場合は本製品の裏面に記載されている MACアドレスをプロバイダに登録しなおしてください。MACアドレスによる管理を 行っているかどうか、また、MACアドレスの登録変更の方法についてはご契約先のプ ロバイダに確認してください。

# 4. ワイヤレスLANアクセスポイント

1. ワイヤレスLANアクセスポイントについて

本製品は、ワイヤレスLANネットワークと既存のイーサネットネッ トワークを接続するためのアクセスポイントとしても機能します。 本製品を使用することで既存のイーサネットネットワーク資産を 利用したワイヤレスLANネットワークをシームレスに構築するこ とが可能です。

本製品はIEEE802.11およびIEEE802.11bに準拠し伝送速度は、 11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsに対応しています。ローミング機 能により端末がサービスセット間を移動してもアクセスポイント を再認識させること無く使用可能です。またESSIDやWEPなどの 機能を使用する事によりより堅牢なセキュリティを保つことが出 来ます。



図4-1ワイヤレスLAN構築例

# 2. ワイヤレスLANクライアントの設定

本製品にはIEEE802.11bに準拠したほとんどのワイヤレスLANカ ードがアクセスすることが可能です。ここではWindows 98/98 Second Edition/Me上で、弊社製品 GW-NS110/NS110PXを使用 した場合を例にとって、アクセスポイントにアクセスする場合の 設定方法を説明します。GW-NS110/NS110PXのインストールに ついてはそれぞれのマニュアルを参照してください。

WEPを使用しない場合の設定

1.本製品のワイヤレスの設定を第6章「6.ワイヤレス設定」を参照して下記のように設定してください。設定変更後、[保存]ボタンをクリックして設定を保存してください。

項目	設定	説明
[ESS-ID]	default	ESS-IDによりワイヤレスLANグループ が作成されます。 同じESS-IDを設定した機器同士でのみ 通信できます。 任意の文字列を入れる事が出来ます。 ここでは例としてこの値を用いています。
「WEP設定」	WEPを使用しない	WEPによる暗号化を行いません。
「ステ <del>ー</del> ション設定」	アクセスポイントを 有効にする	各ステーションからアクセスポイント として通信できるようにします。
「アクセス権の設定」	すべてチェックマーク	各ステーションにアクセス制限をかけ ずに通信します。

表4-1. WEPを使用しない場合の設定



2.GW-NS110/NS110PXをインストールしたコンピュータから、 [スタートメニュー] [プログラム] [GeoWave] [GeoWave Wireless LAN Utility]を選択してください。GW-NS110/NS110PXの設定ユーティリティーが起動します。

GeoWave Wireless LAN L	Itility			_ 🗆 ×
GW-NSTIU情報 ワイヤレスLANアダプタ:	GeoWave/GW-NS11	0/NS1	10PX Wireless	LAN Ca
ファームウェア バージョン:	0.7.6	J2	別波数ドメイン:	ARIB
MACアドレス:	00:90:CC:0E:13:3A	使用□	中のチャンネル:	14
接続先BSS:	No Connection	現花	Eの転送速度:	2 Mbps
ESS ID :				
	ワイヤレスネットワーク	設定	ネットワーク	設定
	診断的	/− <i>I</i> L	診断ツー	-ル
			バージョン	情報
			終了	

3.[ネットワーク設定]ボタンをクリックしてください。ネットワ ーク設定ウィンドウが表示されます。

100 ネットワーク設定	_ 🗆 X
ESS ID © 設定しない	
○ 設定する	
ネットワークタイプ ・ インフラストラクチャ・ワクセスポイン ・ アドホック・ワクセスポイントを使用 チャンネルの設定 14	トを使用する) しない) 
RTSしきい値 © 無効にする C 有効にする (2432)	<ul> <li>省電力</li> <li>● 無効にする</li> <li>● 有効にする</li> <li>rweP使用</li> </ul>
つうグしきい値 © 無効にする © 有効にする (2432)	<ul> <li>○ 無効にする</li> <li>○ 有効にする</li> <li>□ 暗号キー</li> </ul>
IRQ.	転送速度
107ドレス	Fully Auto
	初期値 キャンセル

## 4.各項目を下記の通りに設定します。

項目	設定	説明
[ESS-ID]	default	ESS-IDによりワイヤレスLANグループ が作成されます。 同じESS-IDを設定した機器同士でのみ 通信できます。 任意の文字列を入れる事が出来ます。 ここでは例としてこの値を用いています。
「ネットワークタイプ」	インフラストラクチャ	アクセスポイントを利用して通信するモ ードです。
「WEP使用」	WEPを無効にする	WEPによる暗号化を行いません。

表4-2.ネットワーク各項目設定



5.[変更]ボタンをクリックしてください。[終了]ボタンをクリッ クして、ユーティリティーを終了させてください。

以上でWEPを使用しない場合の設定は完了です。コンピュータか ら本製品のLAN側ポートに"ping"コマンドを実行する等して通 信が出来ているか確認してください。

## WEPを使用する場合の設定

1.本製品のワイヤレスの設定を第6章「6.ワイヤレス設定」を参照 して下記のように設定してください。設定変更後、[保存]ボタ ンをクリックして設定を保存してください。

項目	設定	説明
[ESS-ID]	default	ESS-IDによりワイヤレスLANグループ が作成されます。同じESS-IDを設定し た機器同士でのみ通信できます。 任意の文字列を入れる事が出来ます。 ここでは例としてこの値を用いています。
「WEP設定」	40bit暗号化WEP を使用する	WEPを使用します。GW-NS110 /110PXは40bit暗号化に対応してい ますので40bit暗号化でWEPを設定し ます。
「デフォルトキー」	1	通常使用するキーを選択します。40bit 暗号化では4つまでのキーを登録でき ます。
[+-]	11 11 11 11 11	暗号化するキーを設定します。キーは 16進数(0~F)の10桁で設定します。 WEPを使用する場合は同じキーに設定 した機器同士でのみ通信できます。ここ では例としてこの値を用いています。
「ステ <del>ー</del> ション設定」	アクセスポイントを 有効にする	各ステーションからアクセスポイントとし て通信できるようにします。
「アクセス権の設定」	すべてチェックマーク	各ステーションにアクセス制限をかけず に通信します。

表4-3.WEPを使用する場合の設定



2.GW-NS110/NS110PXをインストールしたコンピュータから、 [スタートメニュー] [プログラム] [GeoWave] [GeoWave Wireless LAN Utility]を選択してください。GW-NS110/NS110PXの設定ユーティリティーが起動します。

🔞 GeoWave Wireless LAN L	Itility			_ 🗆 ×
GW-NS110情報	-			
ワイヤレスLANアダプタ:	GeoWave/GW-NS11	0/NS1	10PX Wireless	LAN Ca 🔽
ファームウェア バージョン:	0.7.6	,R	罰波数ドメイン:	ARIB
MACアドレス:	00:90:CC:0E:13:3A	使用□	Þのチャンネル:	14
接続先BSS:	No Connection	現力	Eの転送速度:	2 Mbps
ESS ID :	<b></b>			
	ワイヤレスネットワーク	設定	ネットワーク	設定
	11分数50	)-JL	診断ツー	-14
			バージョン	情報
			終了	

3.[ネットワーク設定]ボタンをクリックしてください。ネットワ ーク設定ウィンドウが表示されます。

1000 ネットワーク設定	
ESS ID	
● 設定しない	
<ul> <li>C 設定する</li> </ul>	
ネットワークタイプ	
<ul> <li>インフラストラクチャ・(アクセスボイン)</li> </ul>	トを使用する)
○ アドホック・(アクセスポイントを使用	しない)
チャンネルの設定 14	~
RTSしきい値	「省電力」
● 無効にする	● 無効にする
	* 19 X/IC 9 @
124027	WEP使用
フラグしきい値	● 無効にする
● 無効にする	1 HINGES D
(2432) (2432)	
IRQ	転送速度
1/0 アドレス	Fully Auto 💌
変更	初期値 キャンセル
	de de la de

## 4.各項目を下記の通りに設定します。

項目	設定	説明
[ESS-ID]	default	ESS-IDによりワイヤレスLANグループ が作成されます。 同じESS-IDを設定した機器同士でのみ 通信できます。 任意の文字列を入れる事が出来ます。
「ネットワークタイプ」	インフラストラクチャ	アクセスポイントを利用して通信するモ ードです。
「WEP使用」	WEPを有効にする	WEPによる暗号化を行います。

表4-4.ネットワーク各項目設定



5.[暗号キー]ボタンをクリックしてください。暗号キーを設定す るウィンドウが表示されます。各項目を下記の通りに設定しま す。入力したら[OK]ボタンをクリックしてください。 初期キー:"キー1にチェックマーク"

通常使用するキーを選択します。40bit暗号化では4つまでのキ ーを登録できます。

暗号キー: " 0x1111111111 "

暗号化するキーを設定します。キーは16進数(0~F)の10桁で 設定します。GW-NS-110/110PXでは16進数を用いて暗号化す る場合は、キーの頭に "0x(ゼロ+小文字エックス)"を付け、 10桁の16進数でキーを入力します。ここでは例としてこの値を 用いてます。



6.[変更]ボタンをクリックしてください。[終了]ボタンをクリックして、ユーティリティーを終了させてください。

7.次にデスクトップの[マイネットワーク]アイコンを右クリック して、メニューから[プロパティ]を選択してください。[ネット ワークのプロパティ]が表示されます。

ットワーク		
ネットワークの設定   識別情報   アクセスの制	御	
現在のネットワーク コンポーネント( <u>N</u> ):		
🔜 Microsoft ネットワーク クライアント		
GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wi	reless LAN	Card (5V)
Intel(R) PRO/100+ PCI Adapter		
■夏ダイヤルアップ アダプタ		
TCP/IP -> GeoWave/GW-NS110/N	IS110PX Wi	reless LAN Card 🖵
追加(A)   削除(E)		プロパティ(R)
(毎年前にロガナンナスラットローカリン)		
慶元のにコクオンタるホットフェクルA		
Interosont wyry-9 994 PDF		-
ファイルとプリンタの共有(F)		
=***		
- 読明 ネットローカ アガヴカけ コンピューカをネッ	トローカに動き	用的に接結オスハー
ドウェア デバイスです。	1 2 2(21/)2	TO JC120/2 9 0/ 1
	165	
	OK	キャンセル

- 8. [GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wireless LAN Card]を選択 して、[プロパティ]ボタンをクリックします。GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wireless LAN Cardのプロパティが開きます。 [詳細設定]ボタンをクリックして下さい。
- 9.[プロパティ]から[Authentication Algorithm]を選択してくだ さい。[値]が[WECA Compliant(always use Open)]になっ ているか確認して下さい。なっていない場合は、[WECA Compliant(always use Open)]に変更して下さい。

ドライバの種類   バインド 詳細設 左の一覧から変更する設定をクリッ	定	•
プロパティ( <u>P</u> ): Authentication Algorithm Channel ESSID Fragmentation Threshold Network Type Power Save Mode Preamble Mode RTS Threshold Transmit Rate Use WEP	f直①: WECA Compliant (slways i	
	OK ++>	

10. [OK]ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロ パティウィンドウが閉じます。設定を変更した場合は、再起動 の要求メッセージが出ますので、[はい]ボタンをクリックして 再起動してください。

以上でWEPを使用した場合の設定は完了です。コンピュータから 本製品のLAN側ポートに"ping"コマンドを実行する等して通信 が出来ているか確認してください。

# 5. プリントサーバ機能

## 1. プリントサーバ機能について

本製品はプリンタをネットワーク上で共有する為のプリントサー パとしても機能します。本製品を利用する事で、Windows環境上 で簡単にTCP/IPを用いてプリンタを共有する事が可能です。本製 品にはプリンタと接続する為の、D-SUB25ピン・パラレルポート を備えています。

# 2. Windows 98/98 Second Editionへのインス トール

Windows 98/98 Second Editionから本製品をプリントサーバとし てご使用になる場合は、付属のプリンタ・ポート・ドライバとソ フトウェアをインストールする必要があります。インストールを 行う前に、コンピュータと本製品のIPアドレスの設定をしてくだ さい。  1.本製品付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへ挿入して ください。[スタート]メニューから、[ファイル名を指定して 実行]を選択してください。[名前]に「D:¥SETUP.EXE(CD-ROMドライブがDドライブの場合)」と入力して、[OK]ボタン をクリックしてください。



 2.プリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアのインストーラー が起動します。[NEXT]ボタンをクリックしてください。



 ソフトウェアのインストール先フォルダを指定するウィンドウ が表示されます。

デフォルトのフォルダは「C:planex¥broadlanner」です。イン ストール先フォルダを変更する場合は[Browse]ボタンをクリ ックして、インストール先フォルダを指定してください。イン ストール先フォルダを指定したら[NEXT]ボタンをクリックし てください。



4.ソフトウェアを[スタート]メニューの[プログラム]フォルダ へ登録するウィンドウが表示されます。デフォルトでは [bRoadLanner]フォルダに登録されます。フォルダ名を変える 場合は[Program Folder]にフォルダ名を入力してください。フ ォルダ名を入力したら[NEXT]ボタンをクリックしてください。 プリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアがインストールさ れます。

Select Program Folder		×
	Setup will add program icons to the Program Folder listed below. You may type a new folder name, or select one from the existing Folders list. Click Next to continue. Program Folders: Road Lanner Existing Folders: Adbe Internet Explorer Medsee VirusSean Netsceape Communicator Presime	
	スタートファフ <sup>*</sup>	

5.インストールが終了のウィンドウが表示されます。Windows 98/98 Second Editionでご使用の場合は、[Run Print Port Setup Now]にチェックマークをいれて、[Finish]ボタンをクリック してください。インストーラーが終了します。



6.インストーラが終了後、プリンタ・ポート・ドライバのセットア ップユーティリティーが起動します。本製品が正常にネットワ ークに接続されている事と、電源が入っている事を確認し、 [OK]ボタンをクリックしてください。



7.ネットワーク上の本製品が自動的に検索され表示されます。本 製品が検出されない場合は、接続と電源を確認してください。 また、IPアドレスの設定に問題ないか確認してください。確認 したら、[Refresh]ボタンをクリックして、再検索してください。

ompatible Devices			R	efresh
E 🔝 SC113	009			
·	Port 1, ON-Line			
Indicator Port in al	ready installed			

8.ポートの追加をする為には、検出された本製品のポート [Port1,On-Line]を選択してから[Add]ボタンをクリックして ください。

Compatible Devices	Refresh
E	
Tediestes Davi is should installed	

9.EPSONのインクジェットカラープリンタを接続しているか聞かれますので、ご使用のプリンタがエプソンのインクジェットカラープリンタの場合は、[はい]ボタンを、それ以外のプリンタをご使用の場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。 [はい]をクリックした場合は、EPSONのスプールマネージャーをDisableにしてください。スプールマネージャーの設定についてはプリンタのマニュアルを参照してください。


10.プリンタポートが正常に追加されたら、[OK]ボタンをクリッ クしてください。

ADDPORT			×
⚠	Print Port SC113009_P1	added succ	cessfully
	ОК		

11.プリンタポートの追加が終了すると[プリンタの追加ウィザード]が起動します。プリンタの選択画面が表示されますので、 ご使用のプリンタのマニュアルを参照してプリンタを選択して ください。

Ì	Click the manufacturinstallation disk, cli documentation for a	rer and model of your Printer. If your printer came with an k. Have Disk. If your printer is not listed, consult your printe compatible printer.	r
Manufac Agfa Apple AST AT&T Brother Bull Canon	turers:	Printers:         AGFA-AccuSet 1000           AGFA-AccuSet 10005F v2013108         AGFA-AccuSet 10005F v2013108           AGFA-AccuSet 15005F v2013108         AGFA-AccuSet 15005F v2013108           AGFA-AccuSet 15005F v2013108         AGFA-AccuSet 800           ✓         AGFA-AccuSet 8005F v2013108	1
		Have Disk	

12.プリンタ名を設定するウィンドウが開きます。[プリンタ名] にインストールしたプリンタの名前を入力し、インストールし たプリンタを通常使うプリンタにする場合は[Yes]に、通常使 うプリンタにしない場合は[No]にチェックマークを入れ、[完 了]ボタンをクリックしてください。プリンタのインストール が終了します。1台目のプリンタのインストールの場合には自 動的に通常使うプリンタになります。

Add Printer Wizard		×
	You can type a name for this printer, or you can use the name supplied below. When you have finished, click. Next.	
	Printer name:	
	HP LaserJet 6L PCL (Copy 2) Do you want your Windows-based programs to use this printer	
	as the default printer?	
	C Yes	
	© №	
	〈戻る(B) 完了(E) キャンセル	

13.[マイコンピュータ]から[プリンタ]を開いて、プリンタが追加されている事を確認してください。追加されたプリンタアイコンを右クリックして[プロパティ]を選択してください。プリンタのプロパティが開きますので、[印字テスト]ボタンをクリックしてください。正常にプリンタから印刷されればインストール完了です。

3. Windows Meへのインストール

本製品をWindows Meからプリントサーバとしてご使用になる 場合は、付属のプリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアをイ ンストールする必要があります。インストールを行う前に、コン ピュータと本製品のIPアドレスの設定をしてください。

1.本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブへ挿入してください。 [スタート]メニューから、[ファイル名を指定して実行]を選 択してください。[名前]に「D:¥SETUP.EXE(CD-ROMドラ イブがDドライブの場合)」と入力して、[OK]ボタンをクリッ クしてください。

ファイル名を指	定して実行	×
7	開きたいプログラム、フォルダ、ドキュメント、またはインター ネットリソースの名前を入力してください。	-:
名前(0):	D¥SETUP.EXE	•
	OK キャンセル 参照(B)	

### 2.プリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアのインストーラー が起動します。[NEXT]ボタンをクリックしてください。



3.ソフトウェアのインストール先フォルダを指定するウィンドウ が表示されます。デフォルトのフォルダは「C: ¥planex¥broadlanner」です。インストール先フォルダを変更 する場合は[Browse]ボタンをクリックして、インストール先 フォルダを指定してください。インストール先フォルダを指定 したら[NEXT]ボタンをクリックしてください。

_	Setup will install bRoad Lanner folder.	r in the following
	To install to this folder, clic	ok Next.
	To install to a different fold select another folder.	er, click Browse and
	You can choose not to install I clicking Cancel to exit Setup.	oRoad Lanner by
29	Destination Folder	Browse

4.ソフトウェアを[スタート]メニューの[プログラム]フォルダ へ登録するウィンドウが表示されます。デフォルトでは [bRoad Lanner]フォルダに登録されます。フォルダ名を変え る場合は[Program Folder]にフォルダ名を入力してください。 フォルダ名を入力したら[NEXT]ボタンをクリックしてくだ さい。プリンタ・ポート・ドライバとソフトウェアがインスト ールされます。

Select Program Folder		2
	Setup will add program icons to the Program Folder listed below. You may type a new folder name, or select one from the existing Folders list. Click Next to continue. Program Folders:	
	bRoad Lanner	
Contraction of the local division of the loc	Existing Folders:	
	Adobe Internet Explorer McAfee VirusScan Netscape Communicator Real ?/bțy X3-h7-j7	
	K Back Next > Cancel	

5.インストールが終了のウィンドウが表示されます。Windows Meでご使用の場合は、[Run Print Port Setup Now]のチェック マークを外してから[Finish]ボタンをクリックしてください。 インストーラーが終了します。



6.[マイコンピュータ]から[コントロールパネル]を開いてから
 [プリンタ]を開いてください。[プリンタの追加]アイコンを
 ダブルクリックしてください。[プリンタの追加ウィザード]が
 開始されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



7.プリンタの接続場所を聞かれますので、[ローカルプリンタ]に チェックマークを入れ、[次へ]ボタンをクリックしてください。

プリンタの追加ウィザード	
	プリンタはどこに接続されていますか? プリンタがこのコンピュータに直接つながっている場合は [ローカル プリンタ] を、別りコンピュータに接続されている場合は [ネットワーク プリンタ] を選 択してくだない。
	< 戻る(B) 次へ > キャンセル

8.プリンタの選択画面が表示されますので、ご使用のプリンタの マニュアルを参照してプリンタを選択してください。[次へ]ボ タンをクリックします。

プリンタの製造: は、「ディスク使 参照して互換!	ことモデルを選択してください。プリンタにインストール・ディスクが 和をかりゃうしてください。プリンタが一覧にない場合は、プリンタ 生のあるプリンタを選択してください。	寸いている場 のマニュアルを
製造元( <u>M</u> ):	プリンタ(日):	
Apple Apri AST AT&T Dates	<ul> <li>AGFA-AccuSet 10005 v2013.108</li> <li>AGFA-AccuSet 10005F v2013.108</li> <li>AGFA-AccuSet 10005F v523</li> <li>AGFA-AccuSet 1500</li> <li>AGFA-AccuSet 1500</li> <li>AGFA-AccuSet 1500</li> </ul>	-
Bull	AGFA-AccuSet 8005F v2013108	スク使用(円)

9.プリンタの使用するポートの選択ウィンドウが開きますので、 [LPT:1 プリンタポート]を選択して、[次へ]ボタンをクリッ クしてください。

R	利用可能なポート( <u>A</u> ): COM1: 通信ポート
	COM2: 通信ポート FILE: ディスクにファイルを作成
	LPT1: フリンタ ボート

10.プリンタ名を設定するウィンドウが開きます。[プリンタ名] にインストールしたプリンタの名前を入力し、インストールし たプリンタを通常使うプリンタにする場合は[はい]に、通常 使うプリンタにしない場合は[いいえ]にチェックマークを入 れ、[完了]ボタンをクリックしてください。プリンタのインス トールが終了します。1台目のプリンタのインストールの場合 には自動的に通常使うプリンタになります。



11.印字テストを行うか聞いてきますので、[いいえ]にチェック マークを入れてから[完了]ボタンをクリックしてください。 プリンタのインストールが完了します。

プリンタの追加ウィザード	
	インストール後、プリンタが正しく設定されたかどうか確認するために、 テスト ページを印刷できます。 印字テストを行いますか? C はい (推奨)( <u>()</u> C <u>いいえ(U)</u>
	< 戻る(B) 完了 キャンセル

12.[プリンタ]ウィンドウにインストールされたプリンタのアイ コンが追加されます。追加されたアイコンを右クリックして、 [プロパティ]を選択します。



13.プリンタのプロパティが開きますので。[詳細]タブをクリッ クしてください。[詳細]が開いたら[ポートの追加]ボタンを クリックしてください。

PLaserJet 6L PCLのプロパテ	4			
全般 詳細   共有   用	紙  グラフ・	ィックス   フォン	トーデバイス	、オプション
HP Laser Jet 6L	PCL			
印刷先のポート(P):				
LPT1: (プリンタ ポート)			- ポート	の追加(工)
「ロ尼ルー/市田オスドニノバイル」			ポート	の肖川涂(豆)
HP LaserJet 6L PCL	•			の追加(W)…
・ プリンタボートの割り当	₹@)	プリンタ	- ポートの解	除(№)
未選択時(≦):	15	秒		
送信の再試行時( <u>R</u> ):	45	秒		
	スプールの	設定(1)	ポートの	設定(0)
	OK	*	ャンセル	適用(A)

14.ポートの追加ウィンドウが開きますので、[その他]にチェック マークを入れてください。[追加するポートの種類]から [Shared Port]を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。

ポートの追	ba			? ×
追加する C ネット プリン	ポートの種類を述 ワーク( <u>N</u> ) ノタへのネットワー	選択してくだる ク パス :	5(1:	 
 で その( 追か	<u>もの)</u> ロするポートの種類	頃:		- 李照( <u>⊌</u> )
Sha ust D~	ared Port omon -カル ポート			
			OK	キャンセル

15.プリンタ・ポートの設定ウィンドウが開きます。[Browse Device]ボタンをクリックしてください。

Browse Device	50 +
Select Device Port Parallel 1	(secs)
Port Name:	Driver Version TCP/IP 2.00
Banner	
🗖 Enable Banner 📃 PostScript	OK

16.デバイスの選択ウィンドウが表示されます。ネットワーク上の 本製品が検出され一覧が表示されます。インストールするデバ イスを選択して、[OK]ボタンをクリックしてください。

Device Select	×
Device on LAN:	
SC113009 192.168.0.1	Γικ
	Cancel

17.プリンタ・ポートの設定画面に戻ります。デバイスとポートを 確認して、[OK]ボタンを確認してください。

Port		Retry Interval
Browse Device	SC113009	50 芸
Select Device Po	ort Parallel 1	(secs)
Port Name:	SC113009_P1	Driver Version TCP/IP 2.004
anner Enable Banner	PostScript	OK

18.プリンタのプロパティに戻ります。印刷先のポートが、追加されたポートになっている事を確認して、[適用]ボタンをクリックしてください。

HP LaserJet 6L PCLのプロパティ	1			? X
全般詳細一共有一用新	低   グラフィ	ックス   フォント	- デバイス	オプション
HP Laser Jet 6L	PCL			
印刷先のポート(P):				
SC113009_P1 (Shared Po	ort)		[形-下]]	追加(工))
印刷に使用するドライバイル			ボートの	峭刂除( <u>D</u> )
HP LaserJet 6L PCL		-	ドライバの	D追加(W)
・ ブリンタ ポートの害り当て	T( <u>©</u> )	プリンタ	ポートの解释	<u></u> <u> </u>
┌タイムアウト設定①				
未選択時(S):	15	秒		
送信の再試行時( <u>R</u> ):	45	秒		
	スプールの副	定(1) ]	ポートの言	定②
	ОК	<b>*</b> †	ンセル	適用( <u>A</u> )

19.[ 全般 ]タブをクリックしてください。全般タブが開きますの で、[ 印字テスト ]ボタンをクリックしてください。正常にプリ ンタから印刷されればインストール完了です。[ OK ]ボタンを クリックしてください。

HP LaserJet 6L PCL(	Dプロパティ		? ×
全般】詳細】共	有   用紙   グラフィックス	フォント   デバイス オプシ	(عک) ا
HP Lase	erJet 6L PCL		
:( <u>0</u> )+(2)			
区切りページ( <u>S</u> ):	(tau)	▼ 参照(B	)
		<u> 印字テスト(1)</u>	
	ОК	キャンセル	適用( <u>A</u> )

#### 4. Windows 2000へのインストール

本製品をWindows 2000からプリントサーバとしてご使用になる 場合は、Windows 2000のプリンタ設定を行う前に、コンピュータ と本製品のIPアドレスの設定をしてください。

マイコンピュータ ]から[ コントロールパネル ]を開いて、[ プリンタ ]を開いてください。[ プリンタの追加 ]をダブルクリックしてください。[ プリンタの追加ウィザード ]が始まります。
 [ 次へ ]ボタンをクリックしてください。



2.プリンタの接続先の選択ウィンドウが表示されます。[ローカル プリンタ]にチェックマークを入れてください。[プラグ アン ド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]か らチェックマークを外してください。[次へ]ボタンをクリック してください。

プリンタの追加ウィザード	
ローカルまたはネットワーク フリンタ プリングはどのようにエンビュータに接続していますか?	à
クリンタが直接2のコンピュータに接続されている場合は ローカル プリンダ を 別のコンピュータまたは直接ネットワークに接続されている場合は (ネットワーク プリンダ を の) クリンタ(ない)。 で <u>ローカル プリンタ(な)</u> 「 ブラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする(Δ) で ネットワーク プリンタ(E)	
< 戻る(Q) 次へ(Q) > キャンセル	

3.プリンタポートの選択ウィンドウが表示されます。[新しいポートの作成]にチェックマークをいれてください。[種類]から 「Standard TCP/IP Port」を選択してから、[次へ]ボタンをクリ ックしてください。

使用するプリンタ	! ポートを選択してください。ボ	ートが一覧にない場合、新しいボー	-トを追加してください。
<ul> <li>次のボートを</li> <li>ボート</li> </ul>	:使用(U):   説明	ブリンタ	
COM4: COM5: FILE: NULL COM14:	シリアル ポート シリアル ポート ファイルへ出力 ローカル ポート ローカル ポート	MYFAX	
 注意: ほと/	しどのコンピュータはローカル ブ	りンタとの通信に LPT1: ポートを使	

4.[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]が始まります。 [次へ]ボタンをクリックしてください。



5.ポートの追加ウィンドウが表示されます。[プリンタ名またはIP アドレス]に本製品のLAN側ポートに割り当てたIPアドレスを 入力してください。ポート名はIPアドレスを入力すると自動的 に入力されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。

とのテハイスに対するボートを追加し 希望のデバイスのプリンタ名または	ほすか? IP アドレス、およ	びポート名を入力	してください。	×
プリンタ名または IP アドレス( <u>A</u> ):	I			_
ポート名( <u>P</u> ):				_

6.デバイスの種類の選択ウィンドウが表示されます。[カスタム] にチェックマークを入れ、[設定]ボタンをクリックしてくだ さい。

検出したデバイスの種類が不明です。以下の点を確認してください。 1. デバイス加工に構成されている。 2. 前のページのアドレズ加工確である。 前のウィザードのページに変つ、アドレスを修正してネットワークで別の検索を実行す ある場合は、デバイスの種類を選択してください。	
<ol> <li>前のページのアドレスが正確である。 前のウィザードのページに戻り、アドレスを修正してネットワークで別の検索を実行す ある場合は、デバイスの種類を選択してください。</li> </ol>	
前のウィザードのページに戻り、アドレスを修正してネットワークで別の検索を実行す ある場合は、デバイスの種類を選択してください。	
	るか、アドレスが確実に正確で
デバイスの種類	
C 標準(S) Generic Network Card	¥
6 H7 H (0) = +++++	
10/0/0/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2	

7.ポートの設定ウィンドウが表示されます。[プロトコル]から [LPR]にチェックマークを入れてください。[LPR設定]の [キュー名]に「lp1」と入力し、[LPRバイトカウントを有効に する]にチェックマークを入れてください。設定し終わったら [OK]ボタンをクリックしてください。

ート名( <u>P</u> ):		IP_192.10	68.1.225	
リンタ名または IP アドレ	ス( <u>A</u> ):	192.168.	.225	
プロトコル	B		€ LPR(L)	
Raw 設定				
ポート番号( <u>N</u> ):	910	0		
LPR 設定				
キュー名(Q):	lp1			
LPR バイト カウント	を有効にす	12(B)		
「 SNMP ステータスを	有効にする	( <u>s</u> ) —		
コミュニティ名( <u>C</u> ):	pub	lic		
SNMP デバイス	1			

8.標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了ウィンドウ が表示されますので、設定内容を確認して、[完了]ボタンをク リックしてください。



9.[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]が完了すると [プリンタの追加ウィザード]に戻ります。プリンタの選択画 面が表示されますので、ご使用のプリンタのマニュアルを参照 してプリンタを選択してください。[次へ]ボタンをクリック します。

リンタの追加ウィザード <b>プリンタの追加ウィザード</b> 製造元とモデルでどの	ガンタを使うか決定します。	Ś
グリンタの製造元 使用1をクリックし タを選択してくださ	ビモデルを選択してください。プリンタにインストール ディスクが付属 くてださい。プリンタが一覧にない場合は、プリンタのマニュアルを参照 い。 ーカいッカ(の)、	っている場合は、「ディスク 風して互換性のあるプリン
Rectary GCC Geseric Gestetner Hitachi Hitachi Hitachi Koki HP TDM	HP Laser det 55i HP Laser det 55i Mopier HP Laser det 55i Mopier HP Laser det 55i MOpier HP Laser det 55i MX HP Laser det 55i MX HP Laser det 64 HP Laser det 65i Mopier	▲  
	< 戻る(B) ( <u>) 次へい</u> )>	

パリンタ名を設定するウィンドウが開きます。[プリンタ名]
 にインストールしたプリンタの名前を入力し、インストールしたプリンタを通常使うプリンタにする場合は[はい]に、通常使うプリンタにしない場合は[いいえ]にチェックマークを入れ、
 [次へ]ボタンをクリックしてください。1台目のプリンタのインストールの場合には自動的に通常使うプリンタになります。

プリンタの追加ウィザード	
<b>ブリンタ名</b> このプリンダに名前を割り当ててください。	
このプリンタの名前を指定してください。一部のブ 組み合わせはサポートされていません。	ログラムでは、32 文字以上のサーバーとプリンタ名の
ブリンタ名(P):	
HP Laser Jet 6L	
Windows アプリケーションで、このプリンタを通常	使うプリンタとして使いますか?
C (th)∆	
<ul> <li>(• ()()≵(Q)</li> </ul>	
	〈戻る(B) 次へ(W)〉 キャンセル

11.プリンタの共有設定ウィンドウが表示されます。インストール したコンピュータを通してプリンタを共有する場合は、[共有 する]にチェックマークを入れ、共有名を入力してください。 共有しない場合は[このプリンタを共有しない]にチェックマ ークを入れてください。[次へ]ボタンをクリックしてください。

プリンタの追加ウィザード				
<b>プリンタ共有</b> このプリンタをほかの	ネットワーク ユーザーと共有でき	<b>はす。</b>		Ì
このプリンタをほかの 必要があります。	Dユーザーが利用できるかを指定	宦します。このプリンタを	共有するには共有名	を指定する
○ このプリンタをき	も有しない( <u>O</u> )			
○ 共有する(S):	HPLaserJ			
		< 戻る( <u>B</u> )	次へ(N) >	キャンセル

12.プリンタを共有する設定にした場合は、プリンタの場所とコメ ントを入力するウィンドウが開きます。[場所]と[コメント] を任意に入力してから、[次へ]ボタンをクリックしてください。

シタの追加ウィザード	
場所とコメント このブリンタの場所とコメントを指定できます。	É
このプリンタの場所およびプリンタの機能を説 に役立ちます。	周月するコメントを提供することができます。この情報はユーザー
場所(止):	
コメント(©):	
	/ 戸ス(P) 「ケヘ(M) \ たいより!!

13.テストページの印刷の選択ウィンドウが表示されます。[ プリ ンタの追加ウィザード ] の完了時にテスト印刷をする場合は [ はい ] に、テストページの印刷をしない場合には[ いいえ ] に チェックマークを入れ、[ 次へ ] ボタンをクリックします。イン ストールが正常に終了したのを確認するために、ここではなる べく[ はい ]を選択してください。

ンタの追加ウィザード テスト ページの印刷		A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	T
テスト ページを印刷して、 プリンタ セットアップを	確認することができます	す。	×
テスト ページを印刷しますか?			
C (1(12(Q)			
	< 更る(B)	37A (N) >	キャンクリレ

14.プリンタの追加ウィザードの完了ウィンドウが表示されます。 設定内容を確認してから[完了]ボタンをクリックしてください。 テストページの印刷を選択していた場合は印刷が始まります。 正常にプリンタから印刷されればインストール完了です。



# 6. 詳細設定

ここでは、WEBプラウザを使用して本製品の各機能の詳細な設定を行う手 順を説明します。

注意 WEBプラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対 応したプラウザを使用する必要があります。Netscapeまたは Microsoft Internet Explorerのバージョン4.0以降のご使用を推奨します。

また、プラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorerでは「表示(ツール)」 「インターネットオプション」 「接続」 「LANの設定」、Netscapeでは「編集」 「設定」 「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使 用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で 始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品 のLAN側ボートのIPアドレスを入力してください。

#### 1. 設定画面を開く

- 1.本製品のLAN側ネットワークに接続したコンピュータ上でWEB ブラウザを起動してください。
- 2.WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、 Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のLAN側ポートの IPアドレス(デフォルトでは 192.168.1.1)を入力し[Enter]キ ーを押してください。

 3.本製品にログインするためのユーザ名とパスワードを入力する ダイアログが表示されるのでユーザ名は空欄のままでパスワー ドのみ入力してください。デフォルト設定では、パスワードは 「password」です。

ユーザ名とパス	ን ዞወ入力	×
NeedPasswo ください	rd (192.168.1.1) に対するユー1	げ名を入力して
ユーザ名:		
	0K =++>t	zilu

4.本製品の設定画面が表示されます。画面左側に表示されているのが設定項目のメニューです。メニューの「ヘルプ」をクリックするとオンラインヘルプのメニューが表示されます。また、各設定画面で「i」アイコンをクリックするとその画面のオンラインヘルプが表示されます。



## 2. 管理者パスワードの設定

本製品の管理者パスワードはデフォルトでは「password」に設定 されています。本製品の使用に際してはセキュリティ上、管理者 パスワードを変更することを推奨します。

管理者パスワードの変更を行うには、メニューから「システム設 定」をクリックしてください。

	システム設定		
バスワード	設定画面へログインするためのバスワードを設定します。 新しいバスワード ******** 新しいバスワードの確認 *******		
NAT	インターネットアクセスを共有するためにはNATを有効にする必要があります。 ● NATを有効にする ● NATを無効にする		
TFTP	通常ファームウェアのアップデートはWindowsユーティリティから行います。TFTP(Trivial FTP)からアップデートを行う場合は以下を有効にしてください。 ■ ファームウェアのアップデートのためにTFTPを有効にする		
インターネット からの設定	インターネットからの設定画面へのログインを可能にします。		
	保存。キャンセル		

- 1.パスワードの「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」 の欄に新しいパスワードを入力し、「保存」ボタンをクリックし てください。パスワードの最大長は半角文字で8文字です。
- 2.ログインダイアログが表示されるので新しいパスワードを入力 してログインしなおしてください。

3. インターネット(WAN側)からの設定の許可 本製品はセキュリティ確保のため、デフォルトの状態ではインタ ーネット(WAN側)から設定画面へのログインはできないように なっています。インターネットからの設定画面へのログインを許 可するには、メニューから「システム設定」をクリックしてくだ さい。

	システム設定		
パスワード	設定画面ヘロダインするためのバスワードを設定します。 新しいバスワード X******* 新しいバスワードの確認 X******		
NAT	インターネットアクセスを共有するためにはNATを有効にする必要があります。 ● NATを有効にする ● NATを無効にする		
TFTP	通常ファームウェアのアップデートはWindowsユーティリティから行います。TFTP(Trivial FTP)からアップデートを行う場合は以下を有効にしてください。 ■ ファームウェアのアップデートのためにTFTPを有効にする		
インターネット からの設定	インターネットからの設定画面へのログインを可能にします。 ビーインターネットからの設定を許可する ポート番号 <sup>80</sup> WANポートのIPアドレス 192.188.100.235		
	保存 キャンセル		

「インターネットからの設定を許可する」

このチェックボックスをチェックするとインターネット(WAN側) から設定画面にログインできるようになります。 「ポート番号」

設定画面にログインするためのポート番号を変更したい場合のみ 設定してください。

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。

## 4. LANポートのIPアドレスの設定

LAN側ポートのIP設定を変更するには、メニューから「LANポート設定」をクリックしてください。

LANボート設定			(j)
IP設定	IPアドレス	192 168 1 1	
	サブネットマスク	255 255 255 0	
	DHCPサーバ	● 使用する 🌑 使用しない	
DHCPサーバ	割り当て開始アドレス	192 168 1 2	
	割り当て終了アドレス	192 168 1 51	
	WANポートの設定を「固定 レスを設定してください。	IPアドレス」にした場合は、DNS(ド	メインネームサーバ)のアド
DNSアドレス	DNSアドレス(1)	0 0 0 0	
	DNSアドレス(2)	0 0 0 0	省略可)
	DNSアドレス(3)	0 0 0 0	省略可)
ルーティング	ルーティングテーブルの設	定を行います。	
			保存 キャンセル
「IPアドレス」

LAN側ポートに設定するIPアドレスを入力してください。デフォ ルトでは「192.168.1.1」に設定されています。

「サブネットマスク」

LAN側ポートに設定するサブネットマスクを入力してください。 デフォルトでは「255.255.255.0」に設定されています。

設定を変更した場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

# 5. WANポートの設定

WAN側ポートのIP設定を変更するには、メニューから「WANポート設定」をクリックしてください。

本製品はWAN側ポートの接続方法として、通常の接続とPPPoE (PPP over Ethernet)に対応しています。プロバイダ側がPPPoE に対応している場合は「PPPoE接続」を選択してください。それ 以外の場合は「通常の接続」を選択してください。接続方法を選 択したら「設定」ボタンをクリックしてください。



通常接続の設定

WANポート設定で「通常の接続」を選択して「設定」ボタンをク リックすると、通常接続の設定画面が表示されます。

	WAN	-ト設定 通常の接続 (	D
デバイス情報	ドメイン名 ホスト名 MACアドレス	p 1002350 00 90-cc-13-67-25	
IP設定	IPアドレス	<ul> <li>DHCPサーバから自動取得</li> <li>固定IPアドレス</li> <li>リアドレス</li> <li>サブネットマスク</li> <li>ワー・ウェイ</li> <li>ロ・</li> <li></li></ul>	
		デフォルトに戻す 保存 キャンセノ	V

「ホスト名」

通常はデフォルト値のままで変更する必要はありません。プロバ イダによっては、ユーザの認証にホスト名が必要になる場合があ ります。この場合は、ここにプロバイダから指定されたホスト名 を入力してください。

「ドメイン名」

プロバイダによっては、ドメイン名を指定される場合があります。 この場合は、ここにプロバイダから指定されたドメイン名を入力 してください。指定がない場合は、空白のままでかまいません。 ここで入力したドメイン名は本製品のDHCPサーバ機能により LAN側ポートのDHCPクライアントに対してドメインサフィック スとして設定されます。 「DHCPサーバから自動取得」

WAN側ポートのIP設定をプロバイダ側のDHCPサーバから自動的 に取得する場合は、ここを選択してください。

「固定IPアドレス」

プロバイダから固定のIPアドレスが指定されている場合は、ここ を選択し、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」 にプロバイダから指定された値を設定してください。

「IPアドレス」

WAN側ポートに設定する、プロバイダから指定されたIPアドレス を入力してください。

「サブネットマスク」

WAN側ポートに設定する、プロバイダから指定されたサブネット マスクを入力してください。

「ゲートウェイ」

プロバイダから指定された、WAN側ネットワークのデフォルトゲ ートウェイアドレスを入力してください。

設定を変更した場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

PPPoE接続の設定

WANポート設定で「PPPoE接続」を選択して「設定」ボタンをク リックすると、PPPoE接続の設定画面が表示されます。



「ユーザ名(アカウント名)」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のユーザ谷 アカウント名) を入力してください。

「パスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のパスワードを入力して ください。

「パスワードの確認」 確認のためパスワードをもう一度入力してください。 「サービス名」

プロバイダによってはPPPoE接続のサービス名が指定される場 合があります。この場合は指定されたサービス名を入力してくだ さい。サービス名の指定がない場合は空白のままでかまいません。

「IPアドレス」

プロバイダから固定IPアドレスの指定がない場合は「自動取得」 を選択してください。PPPoE接続の際にIPアドレスを自動取得し ます。プロバイダから固定のIPアドレスが指定されている場合は 「固定IPアドレス」を選択し、指定されたIPアドレスを入力してく ださい。

「自動切断までの時間」

ここで設定した時間、インターネットへの通信がない状態が続く とPPPoE接続を自動切断します。自動切断を行わない場合は"0" を設定してください。設定できる値は0-99(分)です。

「自動接続」

「有効にする」をチェックすると、LAN側ネットワークからインタ ーネット側への通信が発生したときに自動でPPPoE接続を行い ます。通常は有効にしておくことを推奨します。無効にした場合、 PPPoEの接続を行うには、「WANステータス」画面の「接続」ボタ ンをクリックして手動で接続を行ってください。

設定を変更した場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

#### PPPoE接続の確認

PPPoE接続が正常に行えるか、確認するには、メニューから 「WANステータス」を選択してください。

	WANステータス PPP	oE接続	(j)
WANステータス	MACアドレス IPアドレス サブネットマスク PPPoE接続ステータス	00-90-cc-13-67-25 0.0.0.0 0.0.0.0 OFF	
接続ログ			
			ログのクリア
		接続 切断	表示の更新

「接続」ボタンをクリックしてください。"PPPoE 接続に成功しま した"というメッセージが表示され、PPPoE接続ステータスが "ON"になれば接続は成功です。PPPoE接続が成功しない場合は、 ユーザ名、パスワード等の設定に間違いがないか確認してくださ い。また、第6章「14.ステータス表示」を参照して"PPPoE接続ロ グ"の内容も確認してください。

# 6. ワイヤレス設定

本製品の無線LAN機能の設定はメニューの「ワイヤレス設定」で 行います。

	ワイヤレス	、設定	Ĵ
一般設定	周波数ドメイン ステーション名 ESS-ID チャンネル	Japan (all) pl002350 default 3 💌	
WEP設定	<ul> <li>WEPを使用しない</li> <li>40ビット暗号化WEPを デフォルトキー 1 ご</li> <li>128ビット暗号化WEP</li> </ul>	使用する キー 1 00 00 00 00 00 00 キー 2 00 00 00 00 00 キー 3 00 00 00 00 00 キー 4 00 00 00 00 00 00 キー 4 00 00 00 00 00 00 キー 4 00 00 00 00 00 00	00
ステーション設定	<ul> <li>マクセスポイントを有効</li> <li>ステーションリスト 00:90</li> <li>新しいステーション</li> <li>アクセス椿の設定</li> <li>リスト内のステーション</li> <li>リストにないステーション</li> </ul>	にする cc:1bd4:98 cc:1bd4:98	
		保存 キャ	ンセル

#### 一般設定

「周波数ドメイン」

本製品の使用周波数ドメインが表示されます。本製品はここで表 示されている周波数ドメイン以外で使用することはできません。

「ステーション名」

「WAN側ポート設定」のホスト名で設定した名前が表示されます。 「ESS-ID」

ESS-ID(Extended Service Set Identifier)を設定すると、同じ ESS-IDを設定した無線ステーションのみ本製品にアクセスでき るようになります。ESS-IDは無線通信を行うすべての機器で同じ 値に設定する必要があります。ESS-IDは半角英数字で32文字以 内で入力してください。

「チャンネル」

無線ネットワークで使用するチャンネル番号を入力してくださ い。切断が頻繁に発生したり、データ転送速度が極端に遅い場合 は、電波が干渉を起こしている可能性があります。このような場 合はチャンネル番号を変更してみてください。 WEP設定

WEP機能とは無線で通信を行う機器同士で共通の暗号キーを使 用して、送受信データを暗号化しデータのセキュリティを確保す るための機能です。

「WEPを使用しない」

ここをチェックするとWEP機能によるデータの暗号化を行いません。デフォルトではWEP機能は無効になっています。

「40ビット暗号化WEPを使用する」

ここをチェックすると、送受信データに対して40ビット暗号化を 行うようになります。本製品をアクセスポイントとして使用する すべてのステーションで同じキーを使用して40ビット暗号化を行 う必要があります。

「デフォルトキー」

デフォルトで使用する暗号キーを選択してください。選択した暗 号キーを使用して送信データの暗号化を行います。

「キーテーブル」

40ビット暗号化に使用するキーデータを入力してください。キー は16進数(0-9, A-F)で2桁ずつ入力してください。無線通信を行 うすべてのステーションにまったく同じキーテーブルを設定して ください。

「128ビット暗号化WEPを使用する」

ここをチェックすると、送受信データに対して128ビット暗号化 を行うようになります。無線通信を行うすべてのステーションで 同じキーを使用して128ビット暗号化を行う必要があります。 「キー」

128ビット暗号化に使用するキーを入力してください。キーは16 進数(0-9, A-F)で2桁ずつ入力してください。無線通信を行うす べてのステーションに同じキーを設定してください。

ステーション設定

本製品のアクセスポイント機能および無線ステーションのアクセ ス権の設定を行います。

「アクセスポイントを有効にする」

ここをチェックすると本製品の無線アクセスポイント機能が有効 になります。チェックしていない場合、無線アクセスポイント機 能は無効です。デフォルトで有効になっています。

「ステーションリスト」

このリストには設定した無線ステーションが表示されます。リス トからステーションを削除するには、削除したいステーションを 選択して「削除」ボタンをクリックしてください。

「新しいステーション」

ステーションリストにステーションを追加するには、ここに追加 するステーションのMACアドレスを入力して「追加」ボタンをク リックしてください。MACアドレスは16進数で2桁ずつ":"(コ ロン)で区切って入力してください。

(例00:90:CC:12:34:56)

「アクセス権の設定」

本製品では、リストに設定したステーションおよびリストにない ステーションそれぞれに対してアクセス権を設定することが可能 です。

リスト内のステーション

ステーションリスト内に登録されているステーションに対し て、LAN側ネットワークへのアクセスおよびインターネットの アクセスの可否を設定します。

リストにないステーション

ステーションリスト内に登録されていないステーションに対し て、LAN側ネットワークへのアクセスおよびインターネットの アクセスの可否を設定します。

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。

# 7. DHCPサーバ機能の設定

DHCPサーバ機能を使用すると、LAN側のローカルネットワーク 上のコンピュータに自動でIPアドレスを割り当てることが可能に なります。LAN側ネットワークのコンピュータにIPアドレスを手 動で設定する必要がなくなります。

本製品のDHCPサーバ機能の設定を行うには、メニューから 「LANポート設定」をクリックしてください。

	LAI	Nボート設定	<b>()</b>
IP設定	IPアドレス	192 168 1 1	
II BOAL	サブネットマスク	255 255 255 0	
	DHCPサーバ	● 使用する 🌘 使用しない	
DHCPサーバ	割り当て開始アドレス	192 168 1 2	
	割り当て終了アドレス	192 168 1 51	
	WANボートの設定を「固? レスを設定してください。	定IPアドレス」にした場合は、DNS(ドメ	インネームサーバ)のアド
	DNSアドレス(1)	192 168 100 10	
BROTTEST	DNSアドレス(2)	192 168 100 11 省	略可)
	DNSアドレス(3)	0 0 0 0	略可)
ルーティング	ルーティングテーブルの影	定を行います。	
			保存キャンセル

「DHCPサーバ」

LAN側ボートのプライベートLAN上のコンピュータに対して、本 製品のDHCPサーバ機能によってIP設定を自動的に割り当てる場 合は、「使用する」を選択してください。DHCPサーバ機能を使用 しない場合は「使用しない」を選択してください。 「割り当て開始アドレス」

DHCPサーバ機能によって、割り当てるIPアドレス範囲の開始ア ドレスを設定してください。本製品のLAN側ポートのIPアドレス は割り当て範囲内に入らないように設定してください。

「割り当て終了アドレス」

DHCPサーバ機能によって、割り当てるIPアドレス範囲の終了ア ドレスを設定してください。

「DNSアドレス(1)~(3)」

WAN側ポートの接続にPPPoEを使用している、またはIPアドレス を自動取得にしている場合は接続時にDNS(ドメインネームサー バ)アドレスも自動取得されるので、設定する必要はありません。 WAN側ポートにプロバイダから指定された固定IPアドレスを使 用している場合は、プロバイダから指定されたDNSアドレスを設 定してください。

設定を変更した場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

注意 DHCPサーバ機能を「使用しない」に設定した場合は、LAN側ネットワーク上 のすべてのコンピュータのIPアドレスを手動で設定してください。 固定IP割り当ての設定

LAN側のネットワーク上でサーバを使用する場合などに、 DHCPサーバから固定のIPアドレスを割り当てさせたい場合が あります。固定IPアドレスの割り当ての設定は「フィルタ設定」 メニューの「コンピュータの設定」で行います。

	コンビュータの設定
コンピュータ	コンピュータ名
	コンピュータ名 pc-01 MACアドレス 0090cc1c24d0 16進数で記号(や-)を入れずに12桁続けて入力してください。
設定	☑ DHCPテーブルにPPアドレスを予約する IPアドレス 192 168 1 20 
	セキュリティグループ Everyone <u>マ</u> グリア 追加 削除 夏新 リスト表示 キャンセル

「コンピュータ名」

固定IPアドレスを割り当てるコンピュータの任意のコンピュータ 名を入力してください。コンピュータ名は半角英数字で10文字以 内で入力してください。

「MACアドレス」

固定IPアドレスを割り当てるコンピュータのMACアドレスを入力 してください。MACアドレスは16進数で12桁続けて入力してくだ さい。コンピュータのMACアドレスの確認方法はコンピュータま たは、ネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。 Windows 95/98/Meであれば、winipcfg ユーティリティで確認でき ます。 「IPアドレス」

コンピュータに割り当てるIPアドレスを入力してください。 DHCPサーバの割り当て範囲内のアドレスを入力してください。

「セキュリティグループ」

コンピュータのセキュリティグループを選択してください。グ ループに参加する必要が無ければ「Everyone」を選択してくだ さい。詳しくは、第6章「12.フィルタ設定」を参照してください。

設定が終了したら「追加」ボタンをクリックしてください。

## 8. 特定アプリケーション

この機能を使用すると、ビデオ会議、インターネット電話、ネット ワーク対戦ゲームなどで双方向通信、複数コネクション、 TCP/UDP混在コネクション等が必要な特定のインターネットアプ リケーションが使用できるようになります。特定アプリケーショ ンの追加を行う前に、あらかじめアプリケーションで使用するプ ロトコル(TCPまたはUDP)とポート番号の情報を用意しておい てください。特定アプリケーションは10個まで登録可能です。特 定アプリケーションの設定は「インターネットアプリケーション」 メニューの「特定アプリケーション」で行います。



「エントリの追加」

各入力項目に追加するアプリケーションのデータを入力し、「追 加」ボタンをクリックしてください。

「エントリの編集」

設定を変更したいエントリーを選択して、「表示の更新」ボタンを クリックしてください。選択したエントリーのデータが表示され るので設定を変更し、「更新」ボタンをクリックしてください。

「エントリの削除」

削除するエントリーを選択して、「削除」ボタンをクリックしてく ださい。

「エントリの一覧表示」

「リスト表示」ボタンをクリックしてください。登録済みのエント リの一覧が表示されます。 各入力項目の詳細

「アプリケーション名」

アプリケーションの名前を入力してください。実際のアプリケー ション名である必要はありません。任意の名前でかまいませんの で、アプリケーション名は半角英数字で10文字以内で入力してく ださい。

「有効にする」

ここをチェックするとアプリケーションが有効になります。

「送信パケット」

プロトコル

アプリケーションから送信するパケットが使用するプロトコル をTCPまたはUDPから選択してください。

ポート番号:開始

アプリケーションから送信するパケットが使用するポート番号 範囲の開始ポート番号を入力してください。アプリケーション が1つのポート番号しか使用しない場合は「開始」と「終了」の 両方に同じポート番号を入力してください。

ポート番号:終了

アプリケーションから送信するパケットが使用するポート番号 範囲の終了ポート番号を入力してください。 「受信パケット」

プロトコル

アプリケーションが受信するパケットが使用するプロトコルを TCPまたはUDPから選択してください。

ポート番号:開始

アプリケーションが受信するパケットが使用するポート番号範 囲の開始ポート番号を入力してください。アプリケーションが 1つのポート番号しか使用しない場合は「開始」と「終了」の両 方に同じポート番号を入力してください。

ポート番号:終了

アプリケーションが受信するパケットが使用するポート番号範 囲の終了ポート番号を入力してください。

設定が終わったら、「インターネットアプリケーション」メニューの動作設定で「特定アプリケーション」を有効にして「保存」ボタンをクリックしてください。

# 9. ローカルサーバ機能

ローカルサーバ機能とはLAN側のローカルネットワーク上に接続 したサーバに対してインターネット(WAN)側からアクセスでき るようにする機能です。設定したローカルサーバへインターネッ トからアクセスするには、本製品のWAN側ポートのIPアドレスに 対してアクセスしてください。ローカルサーバの設定は「インタ ーネットアプリケーション」メニューの「ローカルサーバ」で行 います。

		ローカル	<i>,</i> サーバ					1
WAN IPアドレス	WAN インタ	WAN IPアドレス 192.168.100.235 インターネットからローカルサーバを参照するにはこのアドレスにアクセスしてくだ?						Eðli.
		サーバの種類	有効にする		.AN IP	アドレ	ス	
		DNS		0	0	. 0	0	
		Finger		0	. 0	0	0	
		FTP	<u> </u>	192	168	1	101	
		Gopher		0	. 0	. 0	0	
ローカルサーハ		Mail (SMTP)		0	. 0	. 0	. 0.	
		Mail (POP3)		0	. 0	0	0	
		News		0	. 0	0	. 0	
		Telnet		0	0	. 0	0	
		Web		192	168	1	100	
		Whois		0	. 0	0	0	
						保存	キャン	セル

「サーバの種類」

ローカルサーバ機能ではあらかじめ用意してある、以下の種類の サーバを公開することが可能です。ここにある以外のサーバを公 開したい場合は「ユーザ設定ローカルサーバ」機能を使用してく ださい。

サーバの種類 : DNS、Finger、FTP、Gopher、Mail(SMTP), Mail (POP3), News、Telnet、Web、Whois

「有効にする」

公開したいサーバを選択してください。

「LAN IPアドレス」

サーバとして公開するLAN側ローカルネットワーク上のコンピュ ータのIPアドレスを入力してください。ローカルサーバに設定す るコンピュータでは、サーバアプリケーションが正常にインスト ールされ、動作している必要があります。ローカルサーバに設定 するコンピュータは固定IPアドレスを使用するか、「フィルタ設 定」メニューの「コンピュータ」でIPアドレスを予約して、常に固 定のIPアドレスが使用されるように設定することを推奨します。

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。その 後、「インターネットアプリケーション」メニューの動作設定で 「ローカルサーバ」を有効にして「保存」ボタンをクリックしてく ださい。 例:WEBサーバを公開する場合

ローカルネットワーク上のコンピュータ(IPアドレス: 192.168.1.100)をWEBサーバとして公開する場合は、サーバの種 類「Web」の「有効にする」をチェックし「LAN IPアドレス」にIP アドレス(192.168.1.100)を入力してください。設定したWEBサ ーバにインターネットからアクセスするには、WEBブラウザのア ドレス(URL)入力欄に本製品のWAN側ポートのIPアドレスを入 力してください。

## 10. ユーザ設定ローカルサーバ

ローカルサーバ機能で用意されていない種類のサーバを公開した い場合は、ユーザ設定ローカルサーバ機能を使用してください。 ユーザ設定ローカルサーバを設定するには、あらかじめサーバが 使用するプロトコル(TCPまたはUDP)とポート番号の情報を用 意しておいてください。ローカルサーバ機能の詳細は、第6章「9. ローカルサーバ機能」を参照してください。ユーザ設定ローカル サーバは10個まで登録可能です。ユーザ設定ローカルサーバの設 定は「インターネットアプリケーション」メニューの「ユーザ設 定ローカルサーバ」で行います。

	ユーザ設定	ローカルサーバ	<b>()</b>
WAN IPアドレス	WAN IPアドレス 192.16	38.100.235 >サーバを参照するにはこのアドレスにアクセスして	ください。
サーバの選択	"表示の更新"をクリックす	サーバ名 <mark>」「表示の更新」</mark> ると選択したサーバの設定が表示されます。	
設定	サーバ名 IPアドレス プロトコル 内部ボート番号 外部ボート番号	https マ有効にする 192 168 1 102 TCP 又 443 (役略可)	2U7
		追加 削除 更新 リスト表示 キャ	ンセル

「エントリの追加」

各入力項目に追加するユーザ設定ローカルサーバのデータを入力 し、「追加」ボタンをクリックしてください。

「エントリの編集」

設定を変更したいエントリーを選択して、「表示の更新」ボタンを クリックしてください。選択したエントリーのデータが表示され るので設定を変更し、「更新」ボタンをクリックしてください。

「エントリの削除」

削除するエントリを選択して、「削除」ボタンをクリックしてくだ さい。

「エントリの一覧表示」

「リスト表示」ボタンをクリックしてください。登録済みのエント リの一覧が表示されます。 各入力項目の詳細

「サーバ名」

追加するユーザ設定ローカルサーバのサーバ名を入力してくだ さい。任意の名前でかまいません。サーバ名は半角英数字で10文 字以内で入力してください。

「有効にする」

ここをチェックするとローカルサーバが有効になります。

「IPアドレス」

サーバとして公開するLAN側ローカルネットワーク上のコンピ ュータのIPアドレスを入力してください。ローカルサーバに設定 するコンピュータでは、サーバアプリケーションが正常にイン ストールされ、動作している必要があります。ローカルサーバに設 定するコンピュータは固定IPアドレスを使用するか、「フィルタ設 定」メニューの「コンピュータ」でIPアドレスを予約して、常に固定 のIPアドレスが使用されるように設定することを推奨します。

「プロトコル」

サーバで使用するプロトコルをTCPまたはUDPから選択してください。

「内部ポート番号」

ローカルサーバ上で使用するポート番号を入力してください。

「外部ポート番号」

通常は内部ポート番号と同じポート番号を入力してください。ク ライアント側でサーバと別のポート番号を使用する場合は、その ポート番号を入力してください。 設定が終了したら、「インターネットアプリケーション」メニューの動作設定で「ローカルサーバ」を有効にして「保存」ボタンをク リックしてください。

## 11. バーチャルコンピュータ機能(DMZ)

バーチャルコンピュータ機能とは、プライベートLAN上の1台のコ ンピュータをインターネット上からアクセス可能にする機能で、 DMZ(DeMilitarized Zone)とよばれることもあります。バーチャ ルコンピュータを設定すると、インターネットから、本製品の WAN側ポートのIPアドレスへ送られてくる不明なパケットはすべ てバーチャルコンピュータに転送されるようになります。特定ア プリケーションやローカルサーバ機能でアプリケーションやサー バが正常に動作しなかった場合はバーチャルコンピュータ機能を 試してみてください。設定したバーチャルコンピュータへインタ ーネットからアクセスするには、本製品のWAN側ポートのIPアド レスに対してアクセスしてください。バーチャルコンピュータの 設定を行うには、「インターネットアプリケーション」メニューか ら「バーチャルコンピュータ(DMZ)」をクリックしてください。

	バーチャルコンピュータ
設定	✓ バーチャルコンピュータを有効にする
LAN IPアドレス	バーチャルコンピュータに設定するコンピュータのIPアドレスを入力してください。 LAN IPアドレス 192 168 1 10
WAN IPアドレス	WAN IPアドレス 192.168.100.235 インターネットからバーチャルコンピュータを参照するには、このアドレスにアクセスし てください。
	保存 キャンセル

注意 パーチャルコンピュータ機能を有効にすると、パーチャルコンピュータに設定 したコンピュータに対しては一切のセキュリティが働かなくなります。パーチャルコ ンピュータ機能は、必要時以外は無効にしておくことを推奨します。

「バーチャルコンピュータを有効にする」

ここをチェックすると、バーチャルコンピュータ機能が使用可能 となります。チェックしていない場合、バーチャルコンピュータ 機能は使用できません。

「LAN IPアドレス」

バーチャルコンピュータに設定するLAN側ローカルネットワーク 上のコンピュータのIPアドレスを入力してください。バーチャル コンピュータに設定するコンピュータは固定IPアドレスを使用す るか、「フィルタ設定」メニューの「コンピュータ」でIPアドレス を予約して、常に固定のIPアドレスが使用されるように設定する ことを推奨します。

設定を変更した場合は「保存」ボタンをクリックしてください。 その後、「インターネットアプリケーション」メニューの動作設定 で「バーチャルコンピュータ」を有効にして「保存」ボタンをクリ ックしてください。

## 12. フィルタ設定

本製品のフィルタ機能では、LAN側ローカルネットワーク上のユ ーザのWEBの参照やE-mailの使用など特定のインターネットサー ビスの使用制限を行うことが可能です。本製品のフィルタ設定は グループごとに行います。また、独自のフィルタを追加すること も可能です。

デフォルトでは、フィルタ機能は無効に設定されています。フィ ルタ機能の設定を行うには、メニューから「フィルタ設定」をク リックしてください。



コンピュータのグループへの登録

本製品のフィルタ機能ではグループごとにフィルタの設定を行い ます。このためフィルタ機能を使用するには、まずコンピュータ をグループに登録する必要があります。グループにば Everyone"、 "Group 1"、"Group 2"、"Group 3"、"Group 4"の5つがあります。 設定を行っていないコンピュータはすべて"Everyone"グループ に参加することになります。

コンピュータのグループへの登録は、「フィルタ設定」メニューの 「コンピュータの設定」で行います。コンピュータは50台まで登録 可能です。



「コンピュータ名」

固定IPアドレスを割り当てるコンピュータの任意のコンピュータ 名を入力してください。コンピュータ名は半角英数字で10文字以 内で入力してください。

「MACアドレス」

固定IPアドレスを割り当てるコンピュータのMACアドレスを入 力してください。MACアドレスは16進数で12桁続けて入力して ください。コンピュータのMACアドレスの確認方法はコンピュー タまたは、ネットワークアダプタのマニュアルを参照してくださ い。Windows 95/98/Meであれば、winipcfg ユーティリティで確認 できます。

「IPアドレス」

コンピュータに割り当てるIPアドレスを入力してください。 DHCPサーバの割り当て範囲内のアドレスを入力してください。 「セキュリティグループ」

このコンピュータが参加するセキュリティグループを選択してく ださい。フィルタ設定の必要が無ければ「Everyone」を選択して ください。

設定が終わったら「追加」ボタンをクリックしてください。 登録済みのコンピュータの設定を変更したい場合は、コンピュー タを選択して「表示の更新」ボタンをクリックしてから、設定を 変更し「更新」ボタンをクリックしてください。

グループごとのフィルタの設定

各グループごとのフィルタの設定は「フィルタ設定」メニューの 「セキュリティグループ」で行います。

	セキュリティ	ブルーブ	1				
グループ	グループを選打 "表示の更新"をクリックすると選	グループを選択 Group 1					
アクセス制限	グループのインターネットへのア ● 制限なし ● すべてのアクセスを拒否 ● パケットフィルタテーブルを很	All のとれてとりブリンテンに加ていたフルーンのお店にもかないにいなう。 グリルーゴのインターネットへのアクセス制限 ● 利限なし ● すべてのアクセスを担否 ● パイマットフルタテーゴルを使用					
	アクセスを拒 アプリケーション	否するアイテムを選択してください。 <b> TCPパケット</b>					
バケット フィルタ テーブル	Archie     DNS     E-Mail     FTP     Gopher     News     SNMP     Teinet     TTP     WWW	<ul> <li>アイテムを選択してください i3加は"ユーザフィルタ設定"で行ってください UDPパケット アイテムを選択してください 追加は"ユーザフィルタ設定"で行ってください         </li> </ul>					
		(277 + )	クリア				
		1*15 + + +	270				

「グループを選択」

設定を行うグループを選択して、「表示の更新」ボタンをクリック してください。

「アクセス制限」

グループに対するアクセス制限を設定します。

制限なし

アクセス制限を行いません。

すべてのアクセスを制限

すべてのアクセスを禁止します。

パケットフィルタテーブルを使用

下記のパケットフィルタテーブルの設定にしたがってアクセス 制限を行います。

「パケットフィルタテーブル」

アクセスを禁止したいサービスを「アプリケーション」、「TCPパ ケット」、「UDPパケット」から選択してください。「TCPパケット」、 「UDPパケット」へのアイテムの追加は次節で説明する「ユーザフ ィルタ設定」で行います。

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。

ユーザフィルタの設定

パケットフィルタテーブルにあらかじめ用意されている以外の サービスを禁止したい場合はユーザフィルタの設定を行ってく ださい。

ユーザフィルタの設定は「フィルタ設定」メニューの「ユーザフ ィルタ設定」で行います。



ユーザフィルタの設定は、パケットのプロトコルの種類によって TCPフィルタとUDPフィルタに分かれます。該当するプロトコル に「パケット名」と「ポート番号」を入力してください。パケット 名は任意の名前で半角英数字6文字以内で入力してください。

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。

13. ルーティングテーブル

本製品では、ルーティングテーブルにスタティックルーティング 情報を20個まで追加することが可能です。

注意 新規にルーティング情報を追加するには、TCP/IPについてのより高度な知識 が必要です。間違ったルーティング情報を追加すると、IPネットワーク全体の通信が 止まってしまう恐れもあります。ルーティング情報の追加を行う前に、ネットワーク 管理者と相談し、追加するルーティング情報に問題が無いかよく確認してください。

スタティックルーティング情報の追加を行うには、「LANポート 設定」メニューから「ルーティング」をクリックしてください。

	ルーティ	ング設定	(j)
ル <i>ーティ</i> ング テーブル	IJ	トリーを選択 二 表示を更新	
設定	送信先アドレス ネットマスク ゲートウェイアドレス インターフェース メトリック	192 168 0 1 255 255 255 0 192 168 1 100 LAN ⊻	加了
	追加削除更新	ルーティングテーブルの表示	キャンセル

「エントリの追加」

各入力項目に追加するスタティックルーティングエントリのデー タを入力し、「追加」ボタンをクリックしてください。 「エントリの編集」

設定を変更したいエントリを選択して、「表示の更新」ボタンをク リックしてください。選択したエントリのデータが表示されるの で設定を変更し、「更新」ボタンをクリックしてください。

「エントリの削除」

削除するエントリを選択して、「削除」ボタンをクリックしてくだ さい。

「エントリの一覧表示」

「リスト表示」ボタンをクリックしてください。登録済みのエント リの一覧が表示されます。

各入力項目の詳細

「送信先アドレス」

送信先ネットワークのネットワークアドレスを入力してください。

「ネットマスク」

送信先ネットワークのネットマスクを入力してください。送信先 がクラスCネットワークであればネットマスクは"255.255.255.0 " になります。

「ゲートウェイ」

送信先ネットワークへのゲートウェイアドレスを入力してくだ さい。

「インターフェース」 インターフェースを" LAN "または" WAN "から選択してください。 「メトリック」

送信先ネットワークまでのホップ数(通過するルータの数)を入 力してください。デフォルト値は"1"です。

#### 14. ステータス表示

LAN側ポートのステータス表示 LAN側ポートのステータス表示を行うには、メニューから「LAN ステータス」を選択してください。

	LANステ	<del>9</del> 7	(j)
デバイス	ファームウェアバージョ ハードウェアID NAT機能	ン Version 1.0 Rele 00ea005c9732 Enable	ase O8
LANボート	MACアドレス IPアドレス サブネットマスク DHCPサーバ	00-90-cc-13-67-2 192.168.1.1 255.255.255.0 Enable	24
DHCP割り当て	<b>IPアドレス</b> 192.168.1.2 192.168.1.30	MACアドレス 00-90-cc-4f-36-4c 00-90-cc-ba-2c-d6	ステータス leased reserved
			表示の更新

「ファームウェアバージョン」

ファームウェアのバージョンを表示します。

「ハードウェアID」

ハードウェアIDを表示します。MACアドレスではありませんので 注意してください。

「NAT」

NAT機能の状態(有効または無効)を表示します。

「MACアドレス」

LAN側ポートのMACアドレス(ハードウェアアドレス)を表示します。WAN側ポートのMACアドレスとは異なります。

「IPアドレス」

LAN側ポートのIPアドレスを表示します。

「サブネットマスク」

LAN側ネットワークのサブネットマスクを表示します。

「DHCPサーバ」

DHCPサーバ機能の状態(有効または無効)を表示します。

「DHCP割り当て」

DHCPサーバのIPアドレスの割り当て状況と予約状況が表示され ます。DHCPサーバ機能が無効になっている場合はこのテーブル には何も表示されません。

IPアドレス

DHCPクライアントに割り当てた、もしくは予約されているIP アドレスです。

MACアドレス

DHCPクライアントのMACアドレスです。

ステータス

ステータスが "leased "(貸し出し中)または "reserved "(予約 済み)と表示されます。

「表示の更新」ボタン

画面表示内容を更新します。

WAN側ポートのステータス表示

WAN側ポートのステータス表示は、WAN側ポートの設定が「通常の接続」か「PPPoE接続」かで異なります。WAN側ポートのステ ータス表示を行うには、メニューから「WANステータス」を選択 してください。

	WANステータ.	ス 通常の接続		(Ì
	MACアドレス	00-90-cc-13-67-25		
	IPアドレス	192.168.100.235		
WANボート	サブネットマスク	255.255.255.0		
	ゲートウェイ	192.168.100.1		
	DHCPクライアント	Enable		
			再接続	表示の更新

#### 通常の接続の場合

「MACアドレス」

WAN側ポートのMACアドレス(ハードウェアアドレス)を表示します。LAN側ポートのMACアドレスとは異なります。

「IPアドレス」

WAN側ポートのIPアドレスを表示します。

「サブネットマスク」

WAN側ネットワークのサブネットマスクを表示します。

「ゲートウェイ」

WAN側ネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを表示 します。 「DHCPクライアント」

WAN側ポートのDHCPクライアント機能のステータス(有効また は無効)を表示します。

「再接続」ボタン

接続が切断された場合は、このボタンをクリックして再接続を行 ってください。

「表示の更新」ボタン 画面表示内容を更新します。

#### PPPoE接続の場合

WANステータス PPPoE接続			(j)
WANステータス	MACアドレス IPアドレス サブネットマスク PPP₀E接続ステータス	00-90-cc-13-67-25 192.168.100.235 255.255.255.0 ON	
接続ログ	018:ppp up successfully 017:1POP up, set MTU:1492 016:start PP 015:physical line is connected 014:PADS received, id:1 013:Receive 0:90:00:01:E1:7D 0:01:2:11:30:A PPPoF DISC: 1 1		
			ログのクリア
		接続 切断	表示の更新

「MACアドレス」

WAN側ポートのMACアドレス(ハードウェアアドレス)を表示します。LAN側ポートのMACアドレスとは異なります。
「IPアドレス」

このデバイスのWAN側ポートのIPアドレスを表示します。 PPPoEが接続されていない場合は "0.0.0.0"が表示されます。

「サブネットマスク」

WAN側ネットワークのサブネットマスクを表示します。PPPoE が接続されていない場合は "0.0.0.0"が表示されます。

「PPPoE接続ステータス」

現在のPPPoEの接続状況を表示します。

「接続ログ」

PPPoEの接続/切断のログを表示します。

「接続」ボタン

PPPoEの接続を行います。PPPoE接続の設定で自動接続を無効 に設定してある場合に、PPPoEの接続を行うには、このボタンを クリックしてください。

「切断」ボタン

PPPoEの切断を行います。

「ログのクリア」ボタン PPPoEの接続ログを消去します。

「表示の更新」ボタン

画面表示内容を更新します。

## PPPoEの接続ログに表示される主なメッセージとその意味を以下に説明します。

メッセージ	意味	
Dial on Demand	自動接続機能により接続処理が開始されました。	
Manual connection	「接続」ボタンにより接続処理が開始されました。	
Reset physical connection	接続のための準備を開始しました。	
Connecting to remote server	プロバイダ側のサーバに接続を開始しました。	
Remote Server located	プロバイダ側のサーバから応答がありました。	
Start PPP	プロバイダ側のサーバとPPP接続を開始しました。	
PPP up successfully	PPP接続が確立しました。	
Idle time-out reached	無通信状態が無通信時の自動切断に設定した時間に達し ました。切断処理を開始します。	
Disconnecting	接続を切断しました。	
Error : Remote Server not found	プロバイダ側のサーバが応答しません。プロバイダ側のサ ーバかもしくはケーブルの接続に問題があります。	
Error : PPP	PPP接続の確立に失敗しました。ユーザ名/パスワードに	
Connection failed	問題があるか、サーバの問題です。	
Error : Connection to Server lost	接続が切断されました。電源、ケーブルもしくはサーバの 問題等の原因により接続が切断されました。	
Error : Invalid or unknown packet type	受信したパケットは壊れているか、もしくはサポートしてい ないプロトコルです。	

表6-1PPPoE接続ログのメッセージ

### 15. NAT機能の設定

メニューの「システム設定」で、NAT(ネットワークアドレス変換) 機能の有効/無効の設定を行うことが可能です。



「NATを有効にする」

NAT機能が有効になります。インターネットアクセスを共有する 場合は、NAT機能を有効に設定してください。

「NATを無効にする」

NAT機能を無効にします。NAT機能を無効にした場合、本製品は ローカルルータとして動作します。

### 16. その他の設定

メニューの「システム設定」で、TFTPの設定を行うことが可能です。



本製品はTFTPでも、ファームウェアのアップデートを行うこと が可能です。しかし、通常ファームウェアのアップデートは Windows用のユーティリティから行いますので、これを有効にす る必要はありません。

A.トラブルシューティング

Power LEDが点灯しない

- ・本製品付属のACアダプタを使用していますか?
- ・ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか?
- ・ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていま すか?

WAN LEDが点灯しない

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWAN 側ポートおよびxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっか りと接続されていますか?
- ・xDSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか?
- ・ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は
  合っていますか?

LAN LEDが点灯しない

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLAN側
  ポートおよびハブ(コンピュータ)のRJ-45ポートにしっかり
  と接続されていますか?
- ・ハブ(コンピュータ)の電源は入っていますか?
- ・ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は
  合っていますか?

WEB設定画面が表示されない

- ・コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作しています
  か? コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアル
  を参照してネットワーク設定を確認してください。
- ・コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPを自動取得(DHCPを使用)する設定にしてください。
- ・使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると 設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にして ください。Internet Explorerでは「表示(ツール)」 「インタ ーネットオプション」 「接続」、Netscapeでは「編集」 「設定」 「詳細」にプロキシの設定項目があります。

インターネットにアクセスできない

- ・WAN側のIP設定が間違っている可能性があります。プロバイ ダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、第6章 「5.WANポートの設定」をやり直してください。
- ・IPフィルタが設定されていませんか? IPフィルタの設定を確認してください。

LAN側ポートのIPアドレスを忘れてしまった

・本製品のLAN側ポートのIPアドレスを忘れてしまい、設定画面 にログインできなくなってしまった場合は、第1章「7.設定の 初期化」を参照して、IPアドレスを工場出荷時の状態に戻して ください。 パスワードを忘れてしまった

・本製品の管理者パスワードを忘れてしまい、設定画面にログインできなくなってしまった場合は、第1章「7.設定の初期化」を参照して、パスワードを工場出荷時の状態に戻してください。

MACアドレスがわからない

 ・本製品のMACアドレスは本体底面のシールに印刷されています。 Node ID:の後の12桁の文字列が本製品のMACアドレスです。
 MACアドレスはLAN側ポートとWAN側ポートで異なりますので 注意してください。プロバイダへMACアドレスの申請が必要な 場合はWAN側ポートのMACアドレスを申請してください。

# $\frac{d}{ds}B$ .デフォルト設定

本製品の工場出荷時のデフォルト設定は以下のようになっています。デフ オルト設定の読込みを行った場合も、以下の設定が読込まれます。

項目		設定内容
LAN側	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
W A N 側	接続方法	通常の接続
	DHCPクライアント	有効
	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0
ワイヤレス	アクセスポイント機能	有効
	ESS-ID	default
	チャンネル	3
	WEP	使用しない
	アクセス制限	なし
ロサ 日 日 日 ビ バ	DHCPサ <b>ー</b> バ	有効
	DHCP IP割り当て範囲	192.168.1.2~128
	DNSアドレス(1)	0.0.0
	DNSアドレス(2)	0.0.0
	DNSアドレス(3)	0.0.0
パスワード		password
インターネットからの設定		無効
ドメイン名		未設定
ホスト名		本製品裏面のサーバ名
NAT		有効
ローカルサーバ		なし
バーチャルコンピュータ		なし
スタティックルーティング		なし
フィルタ設定		なし

## <sup>付</sup>€.PPPoE接続について

本製品をNTT東日本/NTT西日本が回線提供する「フレッツ・ADSL」サー ビスや、東京めたりっく通信の「Single」サービスなどの、PPPoE接続を 利用した高速インターネットサービスで使用する場合は、以下の内容を参 照してください。

#### 1.PPPoEとは

PPPoE(Point to Point Protocol over Ethernet)とは、ダイヤルア ップ接続で一般的に用いられているPPP(Point to Point Protocol) 接続をEthernet上で実現する方式です。通常、インターネット常 時接続ではネットワーク設定に関する技術的な知識を必要としま すが、PPPoE接続では、基本的にユーザー名とパスワードの設定 だけで簡単にインターネットに接続できます。

PPPoE接続ソフトウェアを使った接続/切断

PPPoEでは、ダイヤルアップ接続で利用されてきたPPPと同様に、 イーサネット上でユーザIDとパスワードを使って契約プロバイダ への接続/ユーザ認証を行います。ただし、ダイヤルアップ接続で のPPPと違い、コンピュータにPPPoE接続のための専用のソフト ウェア(NTTや各プロバイダから提供予定)をインストールする 必要があります。

接続台数

通常、1つの契約(1セッション)には1個のIPアドレスしか割り当 てられないため、1台のコンピュータしかインターネットに接続 できません。 2.PPPoEクライアント機能について

PPPoE接続ソフト不要

本製品自身がPPPoEクライアントとしてプロバイダとのPPPoE セッションを確立します。コンピュータにPPPoE接続ソフトウェ アをインストールする必要はありません。

自動接続

コンピュータからインターネットへの接続要求が発生した場合 に、本製品が自動的にプロバイダに接続します。

無通信時の自動切断

インターネット側との通信が設定した時間(分単位)なかった場 合、自動的に接続を切断します。

複数のコンピュータから同時にインターネット接続 NAPT(IPマスカレード)機能により、1台分の契約で、複数のコン ピュータから同時にインターネット接続が可能です。

### 3. 動作確認済みサービス

以下のPPPoE接続採用インターネットサービスで、本製品の正常 動作を確認しております。

NTT東日本/NTT西日本 フレッツ・ADSL

東京めたりっく通信 Single

フレッツ・ADSLは、NTT東日本(東日本電信電話株式会社)およびNTT西日本(西日 本電信電話株式会社)が回線を提供するサービスです。実際のインターネット契約・ サービス提供は、お客様と各プロバイダとの間で結ばれますのでご注意ください。 プロバイダから配布されるPPPoE接続ソフトウェアについて 本製品のPPPoE接続の設定後はコンピュータにPPPoE接続ソフ トをインストールする必要はありません。インストールしてある 場合は、アンインストールするか、そのソフトの自動接続機能を 無効にしてください。

注意 NTTの「フレッツ・ADSL」サービス、東京めたりっく通信の「Single」サービス における、本製品の動作に関しては、弊社が保証およびサポートを行います。NTT東 日本、NTT西日本、東京めたりっく通信や各プロバイダへの本製品に関するお問い合 わせはご遠慮ください。

# *付*D.仕様

無線部

<準拠する標準>

IEEE 802.11/802.11b、ARIB STD-33A/STD-T66

< 伝送速度 >

11/5.5/2/1Mbps(オートセンシング)

< 周波数帯 >

2.4 ~ 2.497GHz

<通信距離>

240m(屋内使用時、見通し距離)

環境により上記距離を満たせない場合があります。

<アンテナタイプ>

ダイバシティアンテナ

有線部

<準拠する標準>

LAN側 IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX WAN側 IEEE802.3 10BASE-T

< 伝送速度 >

LAN側 10/100Mbps(オートネゴシエーション)

WAN側 10Mbps

<ポート> LAN側 10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 × 1ポート WAN側 10BASE-T RJ-45 × 1ポート

<ネットワークケーブル > 10BASE-T カテゴリ3以上 ツイストペアケーブル( 100m ) 100BASE-TX カテゴリ5以上 ツイストペアケーブル( 100m )

#### 共通

< LED >

Power, Status, WAN, LAN 10, LAN 100, Wireless, Printer Error, Printer Act

<入力電源>

DC 12V、800mA

<消費電力>

最大7.2W

<外形寸法(W×D×H)>

240 x 120 x 35mm

<重量(本体のみ)>

465g

<環境>

動作温度 0~40

動作湿度 35~85%

< EMI >

VCCI Class B, FCC Class B, CE